

# ワイヤレス マイクロホンパッケージ

## 取扱説明書

UWP-D21/D22

UTX-B40

UTX-M40

UTX-P40

URX-P40

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の  
取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、  
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。

# 目次

<b>商品の構成</b> .....	<b>3</b>	<b>使用上のご注意</b> .....	<b>34</b>
UWP-D21 .....	3	使用・保管場所 .....	34
UWP-D22 .....	4	お手入れ .....	34
単売モデル .....	4	<b>主な仕様</b> .....	<b>35</b>
<b>特長</b> .....	<b>5</b>	送信機 (UTX-B40/M40/P40) .....	35
UWP-D21 .....	5	受信機 .....	36
UWP-D22 .....	5		
<b>各部の名称と働き</b> .....	<b>6</b>		
ボディパックトランスミッター (送信機: UTX-B40) .....	6		
ハンドヘルドマイクロホン (送信機: UTX-M40) .....	7		
プラグオントランスミッター (送信機: UTX-P40) .....	9		
ポータブルダイバーシティーチューナー (受信機: URX-P40) .....	10		
<b>電源</b> .....	<b>12</b>		
電池を入れる .....	12		
USB 端子から電源供給する .....	14		
<b>付属品の取り付け</b> .....	<b>15</b>		
ボディパックトランスミッター (UTX-B40) への付属品取り付け .....	15		
ハンドヘルドマイクロホン (UTX-M40) への付属品取り付け .....	16		
プラグオントランスミッター (UTX-P40) への外部機器の取り付け .....	16		
ポータブルダイバーシティーチューナー (URX-P40) への付属品取り付け .....	16		
<b>操作</b> .....	<b>17</b>		
雑音が発生するときは .....	18		
<b>受信機の設定</b> .....	<b>18</b>		
メニュー構成と操作方法 .....	18		
受信チャンネルを設定する .....	19		
グループ内の空きチャンネルを検索する (クリアチャンネルスキャン) .....	19		
グループ内の使用チャンネルを検索する (アクティブチャンネルスキャン) .....	20		
モニター音量を調節する .....	21		
設定メニュー .....	21		
<b>送信機の設定</b> .....	<b>25</b>		
メニュー構成と操作方法 .....	25		
送信チャンネルを設定する .....	26		
設定メニュー .....	26		
<b>システム構成例</b> .....	<b>30</b>		
<b>エラーメッセージ</b> .....	<b>31</b>		
<b>故障かなと思ったら</b> .....	<b>32</b>		

# 商品の構成

この取扱説明書は、ワイヤレスマイクロホンパッケージ UWP-D21/D22 で共通です。各パッケージの商品構成は次のとおりです。

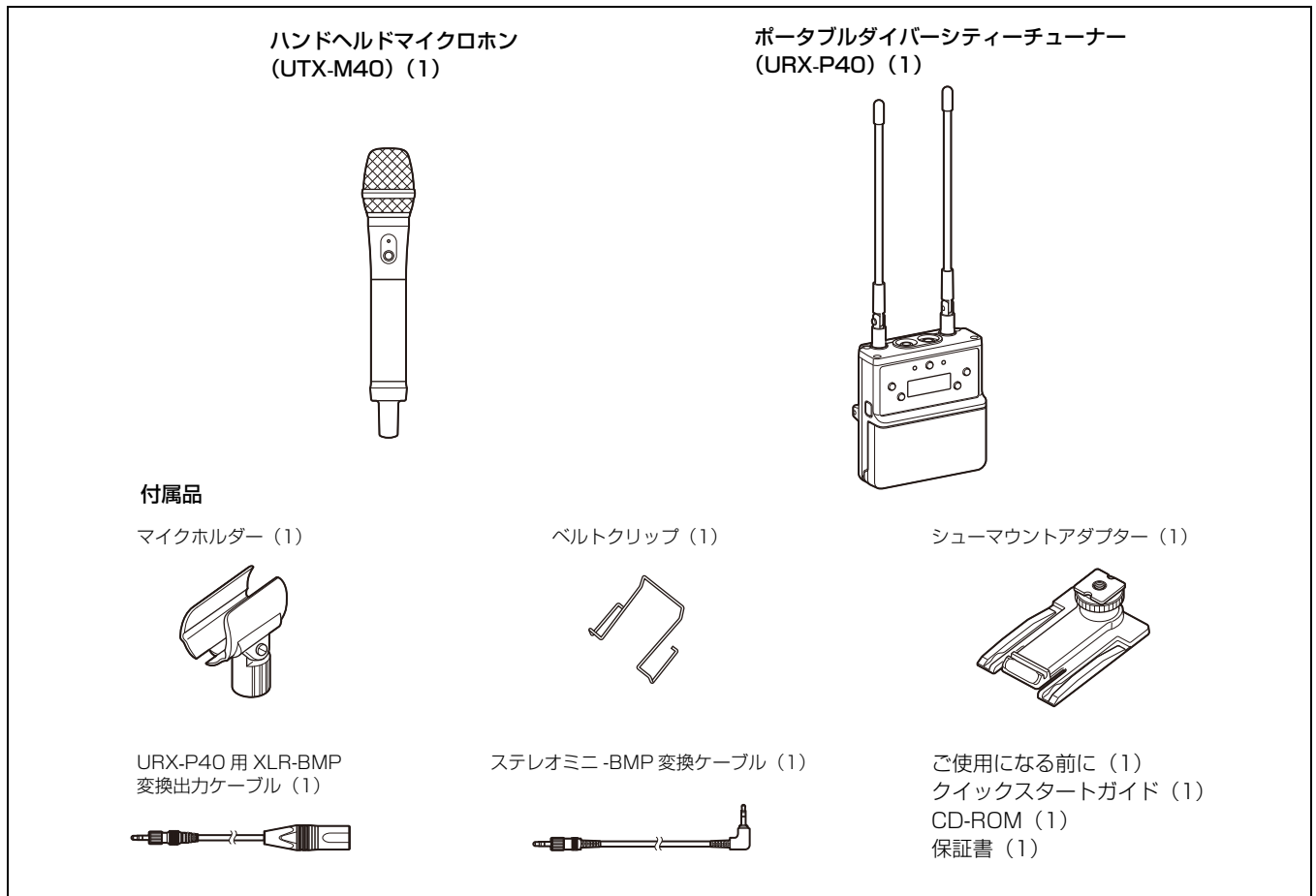
## UWP-D21

ボディーパケットランスミッター（送信機：UTX-B40）とポータブルダイバーシティーチューナー（受信機：URX-P40）のセットです。小型カムコーダーとの組み合わせにより、ENG、EFP アプリケーションにおいて機動性のあるシステムを構築することができます。

<b>ボディーパケットランスミッター (UTX-B40) (1)</b>	<b>ポータブルダイバーシティーチューナー (URX-P40) (1)</b>	
<b>付属品</b>		
無指向性ラベリアマイクロホン (1)	ウインドスクリーン (1)	ホルダークリップ (1)
UTX-B40 用 XLR-BMP 変換入力ケーブル (1)	シューマウントアダプター (1)	ベルトクリップ (2)
URX-P40 用 XLR-BMP 変換出力ケーブル (1)	ステレオミニ-BMP 変換ケーブル (1)	ご使用になる前に (1) クイックスタートガイド (1) CD-ROM (1) 保証書 (1)

# UWP-D22

ハンドヘルドマイクロホン（送信機：UTX-M40）とポータブルダイバーシティチューナー（受信機：URX-P40）のセットです。小型カムコーダーとの組み合わせにより、ENG、EFP アプリケーションにおいて機動性のあるシステムを構築することができます。



## 単売モデル

各パッケージに含まれる送信機および受信機を単独で販売しています。それぞれの商品構成は次のとおりです。

### UTX-B40

- ボディーバックトランスミッター (UTX-B40) (1)
- 無指向性ラベリアマイクロホン (1)
- ウィンドスクリーン (1)
- ホルダークリップ (1)
- UTX-B40 用 XLR-BMP 変換入力ケーブル (1)
- ベルトクリップ (1)
- ご使用になる前に (1)
- CD-ROM (1)
- 保証書 (1)

### UTX-M40

- ハンドヘルドマイクロホン (UTX-M40) (1)
- マイクホルダー (1)
- ご使用になる前に (1)
- CD-ROM (1)

- 保証書 (1)

### UTX-P40

- プラグオントランスミッター (UTX-P40) (1)
- ソフトケース (1)
- ご使用になる前に (1)
- CD-ROM (1)
- 保証書 (1)

### URX-P40

- ポータブルダイバーシティチューナー (URX-P40) (1)
- シューマウントアダプター (1)
- ベルトクリップ (1)
- URX-P40 用 XLR-BMP 変換出力ケーブル (1)
- ステレオミニ-BMP 変換ケーブル (1)
- ご使用になる前に (1)
- CD-ROM (1)
- 保証書 (1)

# 特長

ワイヤレスマイクロホンパッケージ UWP-D21/D22 (UWP-D シリーズ) は、送信機 (ボディーパケットランスミッター (UTX-B40) またはハンドヘルドマイクロホン (UTX-M40)) と受信機 (ポータブルダイバーシティーチューナー (URX-P40)) の組み合わせです。小型カムコーダーやレンズ交換式デジタルカメラなどと組み合わせることで、ENG (Electronic News Gathering) や EFP (Electronic Field Production)、スポーツイベント、ウェディングなど、さまざまな用途に使用できます。

各パッケージの特長は次のとおりです。

## UWP-D21

- ソニーデジタルオーディオプロセッシング技術により高音質を実現
- 素早く簡単に安全なチャンネル設定が可能な NFC SYNC 機能
- 安定した信号受信を実現するトゥルーダイバーシティー受信方式
- 音量調整不要のオートゲインモード
- オフマイクで使用する際に音量を上げる +15 dB ゲインブーストモード
- ライン入力対応
- 受信機の2つの周波数を素早く切り換えられるチャンネルメモリー機能
- 送信機の周波数を受信機に伝送可能
- モニタリング用ヘッドホン出力端子
- 受信機をイヤーマニターとして使用するとき便利なモニタモード
- 多彩な設定が可能なミュート機能
- ソニー WL-800/UWP/UWP-D シリーズとの互換性を確保
- レシーバーの出力レベル調整機能搭載
- 屋外でも見やすい有機 EL ディスプレイ
- 外部電源供給用 USB 端子
- 別売のマルチインターフェースシューアダプター SMAD-P5 との組み合わせでデジタルオーディオインターフェースに対応\*

\* 本機能に対応するカメラの機器情報は、ソニーのウェブサイトをご確認ください。

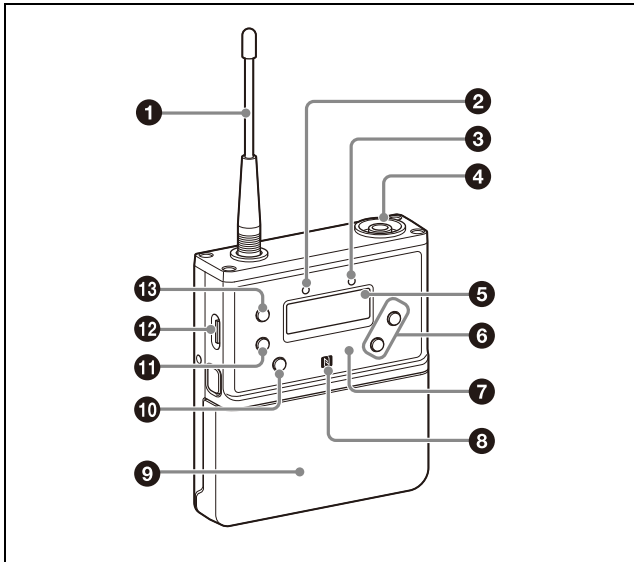
## UWP-D22

- ソニーデジタルオーディオプロセッシング技術により高音質を実現
- 素早く簡単に安全なチャンネル設定が可能な NFC SYNC 機能
- 安定した信号受信を実現するトゥルーダイバーシティー受信方式
- 別売のマイクロホンカプセルユニットと組み合わせでさまざまな用途に使用できる、マイクロホンカプセル交換式
- 音量調整不要のオートゲインモード
- オフマイクで使用する際に音量を上げる +15 dB ゲインブーストモード
- 受信機の2つの周波数を素早く切り換えられるチャンネルメモリー機能
- 送信機の周波数を受信機に伝送可能
- モニタリング用ヘッドホン出力端子
- 受信機をイヤーマニターとして使用するとき便利なモニタモード
- 多彩な設定が可能なミュート機能
- ソニー WL-800/UWP/UWP-D シリーズとの互換性を確保
- レシーバーの出力レベル調整機能搭載
- 屋外でも見やすい有機 EL ディスプレイ
- 外部電源供給用 USB 端子 (URX-P40 のみ)
- 別売のマルチインターフェースシューアダプター SMAD-P5 との組み合わせでデジタルオーディオインターフェースに対応\*

\* 本機能に対応するカメラの機器情報は、ソニーのウェブサイトをご確認ください。

# 各部の名称と働き

## ボディパケットランスミッター（送信機：UTX-B40）



### ① アンテナ

### ② POWER（電源）インジケータ

電池残量を表示します。

インジケータの表示	状態
点灯（緑）	電池残量が充分
点滅（緑）	電池がほとんど消耗している
消灯	電源 OFF

### ③ AUDIO（音声入力レベル）インジケータ

音声入力のレベルによって、以下のように点灯／消灯します。

**点灯（赤）**：音声レベルが高すぎます。音声にひずみが生じる場合は、アッテネーターレベルを調整して入力レベルを下げてください（27 ページ）。

**点灯（緑）**：適正な音声入力レベルです。

**消灯**：音声入力がないか、レベルが低すぎます。

**点滅（橙）**：音声ミュート（消音）されています。

### ④ 音声入力端子（BMP タイプ）

付属のラベリアマイクロホンを接続します。または、付属の UTX-B40 用 XLR-BMP 変換入力ケーブルを使用して、オーディオミキサーなどのライン出力端子や、外部電源を必要としないマイクロホンを接続します。

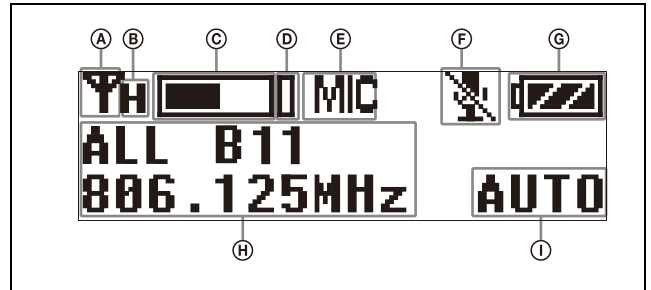
### 【注意】

- オーディオ入力レベルを「MIC」に設定して使用する際には、音声入力端子にはラベリアマイクロホンの電源用に電圧がかかります。また、音声入力端子は特殊な配線になっています。付属のラベリアマイクロホン以外の

機器を接続する場合は、必ず UTX-B40 用 XLR-BMP 変換入力ケーブル（UWP-D21 にのみ付属）をご使用ください。

- 付属以外のラベリアマイクロホンを接続した場合、十分な性能を得られないことがあります。

### ⑤ ディスプレイ部



#### ① RF 送信表示

現在の送信状態を表示します。

☒：送信しています。

—：RF 送信を停止しています。

#### ② RF 送信電力表示

現在の送信電力設定を表示します。この設定は RF 送信電力設定機能で変更できます。

- RF 送信電力設定機能について詳しくは、「送信出力のレベルを設定する（RF POWER）」（27 ページ）をご覧ください。

#### ③ オーディオ入力レベルメーター

音声入力レベルを表示します。

#### ④ ピークインジケータ

オーディオ信号がひずみはじめる 3 dB 前で点灯し、過大入力を警告します。

#### ⑤ 入力レベル表示

入力レベル状態を表示します。

**MIC**：マイク入力です。

**LINE**：ライン入力です。

#### ⑥ 消音状態の表示

消音機能が ON のときにアイコンを表示します。

- 消音機能について詳しくは、「消音機能の動作を設定する（MUTE SETTING）（UTX-B40/P40 のみ）」（28 ページ）をご覧ください。

#### ⑦ 電池残量表示

電池の残量を表示します。USB 端子から電源供給されている場合は、「USB」と表示されます。

- 詳しくは、「電池残量の表示」（14 ページ）をご覧ください。

#### ⑧ メニュー表示部

各種機能を表示します。表示を切り換えるには、+ または - ボタンを押します。

◆ 詳しくは、「設定メニュー」(21 ページ)をご覧ください。

### ① ゲインモード表示

ゲインモードの設定状態を表示します。

◆ 詳しくは「音声のゲインを設定する (GAIN MODE)」(27 ページ)をご覧ください。

### ⑥ +または-ボタン

ディスプレイに表示された機能や値を選択します。

### ⑦ 赤外線受光部

受信機で設定した周波数およびコンパンダーモードを受信します。

### ⑧ N マーク

受信機に設定されている周波数およびコンパンダーモードを受信します。また、送信機に設定されている周波数およびコンパンダーモードを受信機に通知します。

### ⑨ 電池ホルダー

単3形電池(アルカリ乾電池、ニッケル水素充電電池、リチウム電池)2本を入れます。

◆ 電池の入れかたについて詳しくは、「電源」(12 ページ)をご覧ください。

### ⑩ MUTE ボタン

消音機能の ON/OFF 操作に使用します。消音機能の ON/OFF 操作の方法は設定メニューで変更できます。

◆ 消音機能の ON/OFF の切り換え方法について詳しくは、「消音機能の動作を設定する (MUTE SETTING) (UTX-B40/P40 のみ)」(28 ページ)をご覧ください。

### ⑪ SET (セット) ボタン

ディスプレイに表示された機能を調整したり、調整した値を決定したりします。

SET ボタンを押しながら電源を ON にすると、電波を送信しない状態で電源 ON になります(送信停止モード)。

### ⑫ USB 端子 (C タイプ)

市販の USB ポータブル電源を接続します。

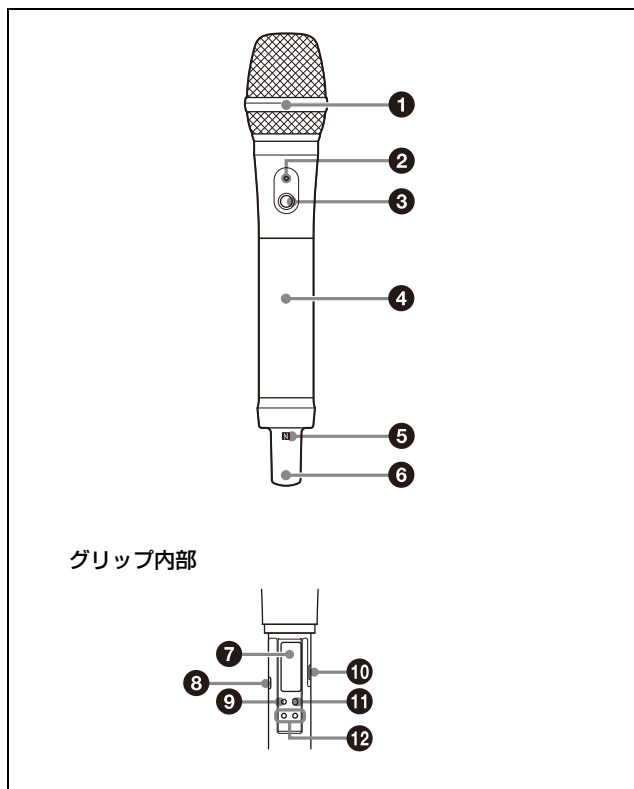
本機の電源が ON のときに USB ポータブル電源を接続すると、自動的に USB ポータブル電源から電源を供給して動作します。

### ⑬ POWER (電源) ボタン

本機の電源を ON/OFF します。

機能	操作
電源 ON	ボタンを1秒以上長押し
電源 OFF	表示が消えるまでボタンを長押し

## ハンドヘルドマイクロホン (送信機 : UTX-M40)



### ① マイクロホンユニット

標準装備のマイクロホンユニットのほか、直径 31.3 mm、ピッチ 1.0 mm の取り付け寸法のマイクロホンユニットを取り付けることができます。

◆ マイクロホンユニットの取り付けおよび取り外し方法について詳しくは、「マイクロホンユニットを交換する」(16 ページ)をご覧ください。

### ② POWER (電源) インジケータ

電池残量、および音声のミュートイング(消音)状態を表示します。

インジケータの表示	状態
点灯 (緑)	電池残量が充分
点滅 (緑)	電池がほとんど消耗している
消灯	電源 OFF
点滅 (橙)	音声をミュートイング(消音)中

### ③ POWER/MUTE (電源/消音) ボタン

本機の電源を ON/OFF します。また、ミュート機能 (消音) 機能の ON/OFF もこのボタンで操作します。

機能	操作
電源 ON	ボタンを 1 秒以上長押し
電源 OFF	表示が消えるまでボタンを長押し
ミュート ON	ボタンを押す
ミュート OFF	

設定メニューから、POWER/MUTE ボタンでの電源操作を無効にしたり、消音機能の ON/OFF 操作の方法を変更できます。

◆ 詳しくは、「消音機能の動作を設定する (POWER/MUTE) (UTX-M40 のみ)」(28 ページ) をご覧ください。

### ④ 電池ホルダー

単 3 形電池 (アルカリ乾電池、ニッケル水素充電電池、リチウム電池) 2 本を入れます。

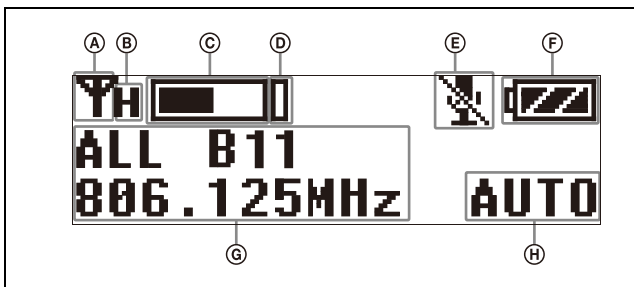
◆ 電池の入れかたについて詳しくは、「電源」(12 ページ) をご覧ください。

### ⑤ N マーク

受信機に設定されている周波数およびコンパンダーモードを受信します。また、送信機に設定されている周波数およびコンパンダーモードを受信機に通知します。

### ⑥ アンテナ部

### ⑦ ディスプレイ部



#### ⑧ RF 送信表示

現在の送信状態を表示します。

- ☑ : 送信しています。
- : RF 送信を停止しています。

#### ⑨ RF 送信電力表示

現在の送信電力設定を表示します。この設定は RF 送信電力設定機能で変更できます。

◆ RF 送信電力設定機能について詳しくは、「送信出力のレベルを設定する (RF POWER)」(27 ページ) をご覧ください。

#### ⑩ オーディオ入力レベルメーター

音声入力レベルを表示します。

#### ⑪ ピークインジケータ

オーディオ信号がひずみはじめる 3 dB 前で点灯し、過大入力を警告します。

#### ⑫ 消音状態の表示

消音機能が ON のときにアイコンを表示します。

◆ 消音機能について詳しくは、「消音機能の動作を設定する (POWER/MUTE) (UTX-M40 のみ)」(28 ページ) をご覧ください。

#### ⑬ 電池残量表示

電池の残量を表示します。

◆ 詳しくは、「電池残量の表示」(14 ページ) をご覧ください。

#### ⑭ メニュー表示部

各種機能を表示します。表示を切り換えるには、+ または - ボタンを押します。

◆ 詳しくは、「設定メニュー」(21 ページ) をご覧ください。

#### ⑮ ゲインモード表示

ゲインモードの設定状態を表示します。

◆ 詳しくは「音声のゲインを設定する (GAIN MODE)」(27 ページ) をご覧ください。

#### ⑯ 赤外線受光部

受信機で設定した周波数およびコンパンダーモードを受信します。

#### ⑰ SET (セット) ボタン

ディスプレイに表示された機能を調整したり、調整した値を決定したりします。

SET ボタンを押しながら電源を ON にすると、電波を送信しない状態で電源 ON になります (送信停止モード)。

#### ⑱ USB 端子 (C タイプ)

サービス専用です。

#### ⑲ POWER (電源) ボタン

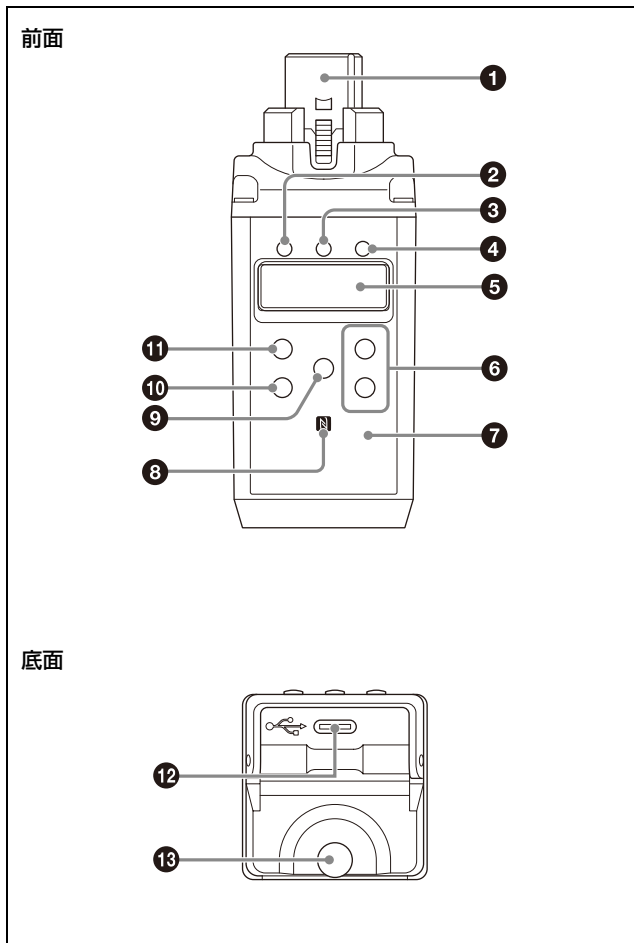
本機の電源を ON/OFF します。

#### ⑳ + または - ボタン

ディスプレイに表示された機能や値を選択します。



# プラグオントランスミッター（送信機：UTX-P40）



## ① 音声入力端子（XLR タイプ）

マイクロホン、または、オーディオミキサーなどのライン出力端子を接続します。

## ② +48V（+48 V 電源）インジケータ

入力レベルが MIC 入力に設定されていて、接続されているマイクロホンに電源を供給しているときに点灯します。

## ③ POWER（電源）インジケータ

電池残量を表示します。

インジケータの表示	状態
点灯（緑）	電池残量が充分
点滅（緑）	電池がほとんど消耗している
消灯	電源 OFF

## ④ AUDIO（音声入力レベル）インジケータ

音声入力のレベルによって、以下のように点灯／消灯します。

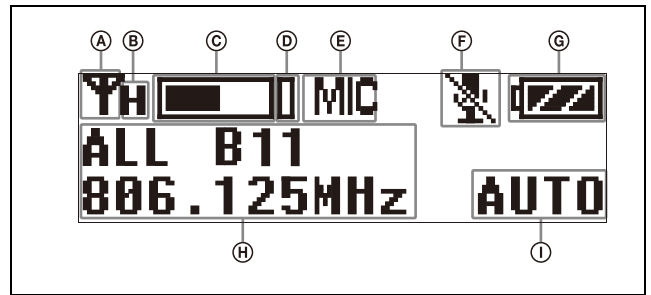
**点灯（赤）：**音声レベルが高すぎます。音声にひずみが生じる場合は、アッテネーターレベルを調整して入力レベルを下げてください（27 ページ）。

**点灯（緑）：**適正な音声入力レベルです。

**消灯：**音声入力がないか、レベルが低すぎます。

**点滅（橙）：**音声ミュート（消音）されています。

## ⑤ ディスプレイ部



### ① RF 送信表示

現在の送信状態を表示します。

☑ : 送信しています。

— : RF 送信を停止しています。

### ② RF 送信電力表示

現在の送信電力設定を表示します。この設定は RF 送信電力設定機能で変更できます。

◆ RF 送信電力設定機能について詳しくは、「送信出力のレベルを設定する（RF POWER）」（27 ページ）をご覧ください。

### ③ オーディオ入力レベルメーター

音声入力レベルを表示します。

### ④ ピークインジケータ

オーディオ信号がひずみはじめる 3 dB 前で点灯し、過大入力を警告します。

### ⑤ 入力レベル表示

入力レベル状態を表示します。

**MIC** : マイク入力です。

**LINE** : ライン入力です。

### ⑥ 消音状態の表示

消音機能が ON のときにアイコンを表示します。

◆ 消音機能について詳しくは、「消音機能の動作を設定する（MUTE SETTING）（UTX-B40/P40 のみ）」（28 ページ）をご覧ください。

### ⑦ 電池残量表示

電池の残量を表示します。USB 端子から電源供給されている場合は、「USB」と表示されます。

◆ 詳しくは、「電池残量の表示」（14 ページ）をご覧ください。

### ⑧ メニュー表示部

各種機能を表示します。表示を切り換えるには、+ または - ボタンを押します。

◆ 詳しくは、「設定メニュー」（21 ページ）をご覧ください。

### ⑨ ゲインモード表示

ゲインモードの設定状態を表示します。

◆ 詳しくは「音声のゲインを設定する（GAIN MODE）」（27 ページ）をご覧ください。

## ⑥ +または-ボタン

ディスプレイに表示された機能や値を選択します。

## ⑦ 赤外線受光部

受信機で設定した周波数およびコンパンダーモードを受信します。

## ⑧ N マーク

受信機に設定されている周波数およびコンパンダーモードを受信します。また、送信機に設定されている周波数およびコンパンダーモードを受信機に通知します。

## ⑨ MUTE ボタン

消音機能の ON/OFF 操作に使用します。消音機能の ON/OFF 操作の方法は設定メニューで変更できます。

◆ 消音機能の ON/OFF の切り換え方法について詳しくは、「消音機能の動作を設定する (MUTE SETTING) (UTX-B40/P40 のみ)」(28 ページ) をご覧ください。

## ⑩ SET (セット) ボタン

ディスプレイに表示された機能を調整したり、調整した値を決定したりします。

SET ボタンを押しながら電源を ON にすると、電波を送信しない状態で電源 ON になります (送信停止モード)。

## ⑪ POWER (電源) ボタン

本機の電源を ON/OFF します。

機能	操作
電源 ON	ボタンを 1 秒以上長押し
電源 OFF	表示が消えるまでボタンを長押し

## ⑫ USB 端子 (C タイプ)

市販の USB ポータブル電源を接続します。

本機の電源が ON のときに USB ポータブル電源を接続すると、自動的に USB ポータブル電源から電源を供給して動作します。

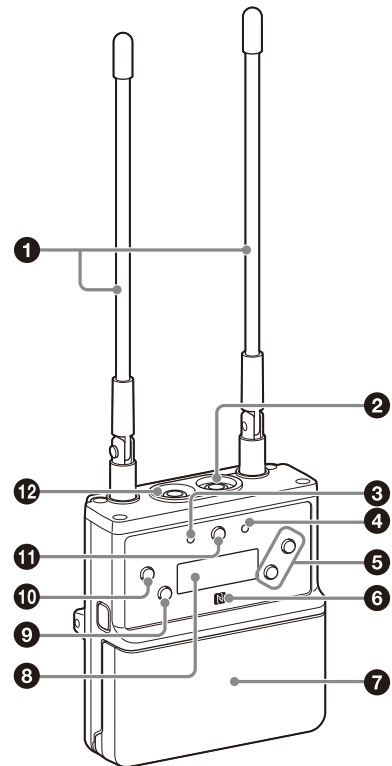
## ⑬ 電池ホルダー

単 3 形電池 (アルカリ乾電池、ニッケル水素充電電池、リチウム電池) 2 本を入れます。

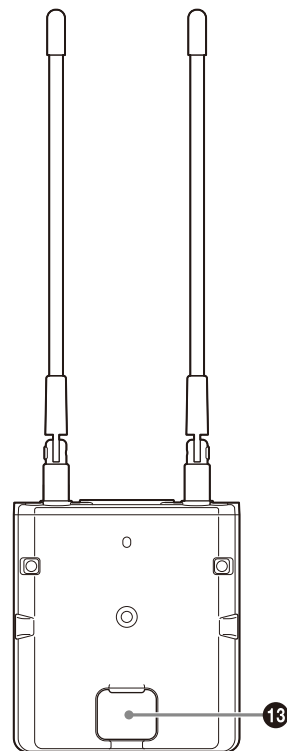
◆ 電池の入れかたについて詳しくは、「電源」(12 ページ) をご覧ください。

# ポータブルダイバーシティチューナー (受信機: URX-P40)

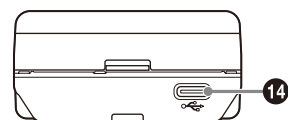
前面



背面



底面



## ① アンテナ

## ② PHONES (モニター) 端子 (Φ3.5 mm ステレオミニジャック)

この端子にヘッドホンを接続して、音声出力をモニターします。

### ご注意

モノラルミニジャックのヘッドホンはこの端子に接続しないでください。ヘッドホン出力がショートし、音声がひずみます。

## ③ POWER (電源) インジケーター

電池残量を表示します。

インジケーターの表示	状態
点灯 (緑)	電池残量が充分
点滅 (緑)	電池がほとんど消耗している
消灯	電源 OFF

## ④ RF (高周波入力) インジケーター

入力された高周波入力レベルによって、次のように点灯します。

点灯 (緑) : 入力レベルは 25 dB $\mu$  以上

点灯 (赤) : 入力レベルは 15 ~ 25 dB $\mu$

消灯 : 入力レベルは 15 dB $\mu$  以下

\* 0 dB $\mu$  = 1  $\mu$  V<sub>EMF</sub>

## ⑤ +または-ボタン

ディスプレイに表示された機能や値を選択します。

## ⑥ Nマーク

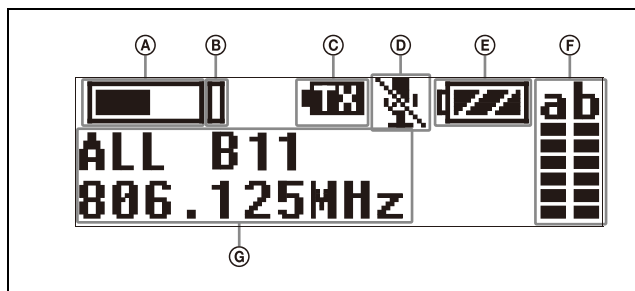
設定した周波数およびコンパンダーモードを送信機に送信します。また、送信機に設定されている周波数およびコンパンダーモードを検知します。

## ⑦ 電池ホルダー

単3形電池 (アルカリ乾電池、ニッケル水素充電電池、リチウム電池) 2本を入れます。

◆ 電池の入れかたについて詳しくは、「電源」(12ページ)をご覧ください。

## ⑧ ディスプレイ部



### ⑨ オーディオ入力レベルメーター

音声入力レベルを表示します。

## ⑩ ピークインジケーター

オーディオ信号がひずみはじめる 3 dB 前で点灯し、過大入力を警告します。

## ⑪ 送信機の電池警告表示

受信している送信機の電池残量がほとんど消耗しているときにアイコンを表示します。

### ご注意

- 受信レベルが低いときは、アイコンが表示されないことがあります。
- この機能は送信機が UTX-B40/M40/P40 のときのみ有効です。

## ⑫ 送信機の消音状態の表示

受信している送信機の消音機能が ON のときにアイコンを表示します。

### ご注意

- 受信レベルが低いときは、アイコンが表示されないことがあります。
- この機能は送信機が UTX-B40/M40/P40 のときのみ有効です。

## ⑬ 電池残量表示

電池の残量を表示します。USB 端子から電源供給されている場合は、「USB」と表示されます。SMAD-P5 (別売) から電源供給されている場合は「MI」と表示されます。

◆ 詳しくは、「電池残量の表示」(14ページ)をご覧ください。

## ⑭ RF レベル (受信レベル) インジケーター

現在の受信レベルを表示します。

## ⑮ メニュー表示部

各種機能を表示します。表示を切り換えるには、+または-ボタンを押します。

◆ 詳しくは、「設定メニュー」(21ページ)をご覧ください。

## ⑯ NFC SYNC (NFC 通信) ボタン

チャンネルスキャン、および送信機との NFC 通信を行うボタンです。

◆ 詳しくは、「操作」(17ページ)をご覧ください。

## ⑰ SET (セット) ボタン

ディスプレイに表示された機能を調整したり、調整した値を決定したりします。

SET ボタンを押しながら電源を ON にすると、電波を送信しない状態で電源 ON になります (送信停止モード)。

## ⑪ POWER (電源) ボタン

本機の電源を ON/OFF します。

機能	操作
電源 ON	ボタンを 1 秒以上長押し
電源 OFF	表示が消えるまでボタンを長押し

## ⑫ OUTPUT (音声出力) 端子 (Φ3.5 mm ステレオミニジャック)

付属の URX-P40 用 XLR-BMP 変換出力ケーブルまたはステレオミニ-BMP 変換ケーブルを接続し、カムコーダーまたはミキサー、アンプなどのマイクロホン入力端子に接続します。接続する機器のマイクロホン入力端子がステレオミニジャックの場合は、ストレート (BMP) プラグをチューナーに、L 型 (ステレオミニ) プラグを相手の機器のマイクロホン入力端子に接続してください。

### ご注意

マイクロホン用外部電源などの電圧を加えないでください。故障の原因になります。

## ⑬ 外部接続用端子

外部アクセサリとの接続に使用します。

## ⑭ USB 端子 (C タイプ)

市販の USB ポータブル電源を接続します。

本機の電源が ON のときは、USB ポータブル電源から電源を供給して動作します。

# 電源

ここでは各機器の電源について説明しています。

## ボディーパケットランスミッター (UTX-B40) およびブラグオントランスミッター (UTX-P40)

単 3 形電池 2 本 (アルカリ乾電池、ニッケル水素充電電池、リチウム電池) または USB 端子からの電源供給で動作します。単 3 形電池と USB 端子から同時に電源供給されている場合、USB 端子からの電源供給が優先されます。各機器の電池の入れかたと電池の残量表示について、また USB 端子からの電源供給について下記の項目で説明しています。

## ハンドヘルドマイクロホン (UTX-M40)

単 3 形電池 2 本 (アルカリ乾電池、ニッケル水素充電電池、リチウム電池) で動作します。電池の入れかたと電池の残量表示について、下記の項目で説明しています。

## ポータブルダイバーシティチューナー (URX-P40)

単 3 形電池 2 本 (アルカリ乾電池、ニッケル水素充電電池、リチウム電池)、USB 端子からの電源供給、または外部接続用端子からの電源供給で動作します。単 3 形電池からと、USB 端子または外部接続用端子から同時に電源供給されている場合は、優先的に使用する電源を POWER SOURCE (外部電源選択) 機能で設定することができます。工場出荷時は、本体に取り付けた単 3 形電池を優先的に使用するよう設定されています。電池の入れかたと電池の残量表示について、また USB 端子からの電源供給について下記の項目で説明しています。

- ◆ POWER SOURCE 機能の設定について詳しくは、「優先的に使用する電源を選択する (POWER SOURCE)」(23 ページ) をご覧ください。

### ご注意

マンガン乾電池を使用すると、十分な性能が得られませんので使用しないでください。

# 電池を入れる

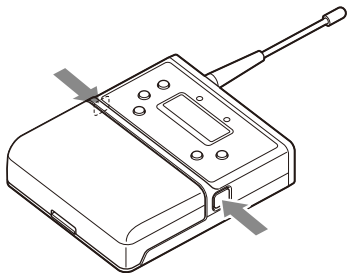
### ご注意

- 電池は必ず同じ種類の電池を使用してください。違う種類の電池や残量の異なる電池を組み合わせて使用しないでください。
- 使用中に電池の交換を行うと、大きな雑音が発生します。電池の交換は、必ず電源を切ってから行ってください。

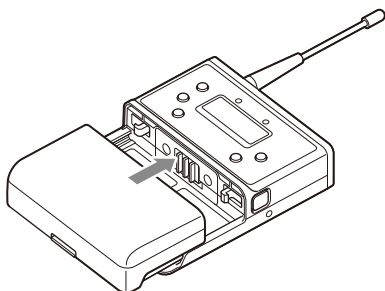
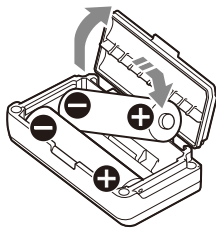
## ボディパックトランスミッター (UTX-B40) / ポータブルダイバーシティーチューナー (URX-P40)

下記手順はボディパックトランスミッター (UTX-B40) のイラストを使って説明していますが、電池の入れかたはポータブルダイバーシティーチューナー (URX-P40) も同様です。

- 1 POWER (電源) ボタンを長押しして、電源を切る。
- 2 左右の側面にあるボタンを押しながら、電池ホルダーを引き出す。



- 3 電池ホルダーのカバーを開けて、新しい単3形電池2本の⊕と⊖を確認して入れ、電池ホルダーを戻す。



電池ホルダーが本体にしっかりロックされていることを確認してください。

## ハンドヘルドマイクロホン (UTX-M40)

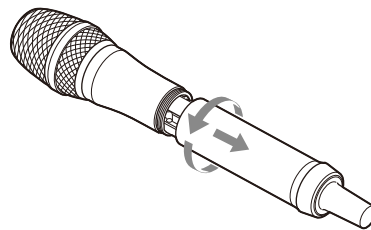
- 1 POWER/MUTE (電源/消音) ボタンまたは POWER (電源) ボタンを長押しして、電源を切る。

### ご注意

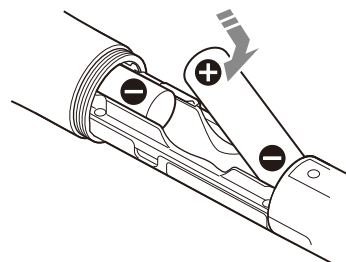
どちらのボタンで電源 OFF 操作を行うかは、POWER/MUTE の設定によって異なります。

◆ 詳しくは、「消音機能の動作を設定する (POWER/MUTE) (UTX-M40 のみ)」 (28 ページ) をご覧ください。

- 2 グリップを矢印の方向に回して引き下げ、電池ホルダーが見える状態にする。



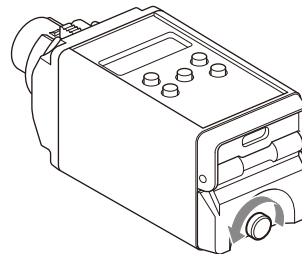
- 3 新しい単3形電池2本の⊕と⊖を確認して入れる。



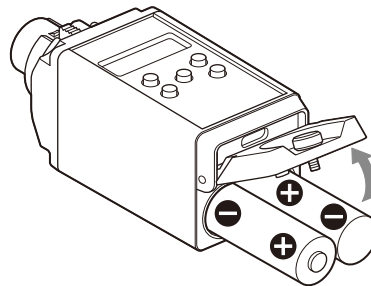
- 4 グリップを閉じ、手順2と逆方向に回して固定する。

## プラグオントランスミッター (UTX-P40)

- 1 POWER (電源) ボタンを長押しして、電源を切る。
- 2 電池ホルダーのつまみを反時計回りに回して、カバーを開ける。



- 3 新しい単3形電池2本の⊕と⊖を確認して入れる。







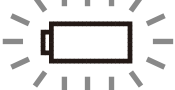
- 4 電池ホルダーのカバーを閉じ、つまみを時計回りに回して固定する。

つまみを固定する際、カバーがしっかり閉まっていることを確認してください。

## 電池残量の表示

POWER ボタンを1秒以上長押ししてONにすると、ディスプレイ部に本機の電池残量が表示されます。

下記の表の5のように表示が点滅しはじめたら、直ちに電池を2本とも新しいものと交換してください。新しいアルカリ乾電池を使用する場合は、記載されている使用推奨期限を確認のうえ使用してください。

	電池残量表示	電池の状態
1	点灯 	良好
2	点灯 	残量 70% 以下
3	点灯 	残量 40% 以下
4	点灯 	残量 20% 以下
5	点滅 	ほとんど消耗している

### で注意

- BATTERY TYPE 機能で TYPE1 を選択した場合、新品のソニーアルカリ単3形乾電池を基準に電池の残量表示をします。その他の種類の電池や他社製の乾電池、新しくない乾電池などでは正しく残量表示ができないことがあります。アルカリ単3形乾電池以外の電池をご使用の場合には、BATTERY TYPE 機能で電池の種類を選択してください。
- 長時間続けてお使いになるときは、新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- 電源を切った状態でも電池は少しずつ消費していきます。本機を長期間使わないときは、電池を取り出してください。
- ◆ BATTERY TYPE 機能の設定について詳しくは、「電池の種類を設定する (BATTERY TYPE)」(24 ページ) をご覧ください。

## 電池についてのご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。
- 電池を交換するときには、必ず2本とも新しい電池と交換してください。
- 新しい電池と使用した電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 本機では電池の充電はできません。
- 本機を長時間使わないときは、電池を取り出しておいてください。万一、液漏れが起こったときは、ソニーのサービス窓口にお持ちください。

## USB 端子から電源供給する

送信機 (UTX-B40/P40)、受信機 (URX-P40) は、USB 端子に市販の USB 出力タイプの AC アダプターやポータブル電源を接続して動作させることができます。

USB 出力タイプの AC アダプターやポータブル電源を接続して給電する場合は、以下の条件のものを使用してください。

- 出力端子形状：USB C タイプ
- 定格電圧：5 V
- 出力電流：200 mA 以上

USB 端子から電源が供給されている場合は、ディスプレイ部に「USB」アイコンが表示されます。

### で注意

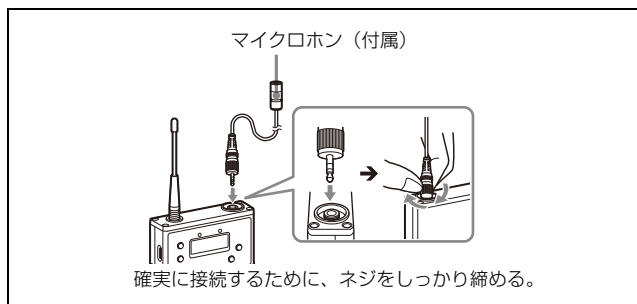
- ハンドヘルドマイクロホン UTX-M40 は、USB 端子から電源供給することはできません。
- 接続する AC アダプターやポータブル電源によっては、音声にノイズが発生することがあります。その場合は、本機やラベリアマイクロホンを AC アダプターやポータブル電源から離すなど、位置を変更することでノイズが軽減されます。
- USB C タイプと他の形状との変換コネクターや、USB Type-C 規格に準拠していないケーブルを使用した場合、ノイズが発生したり、電源が正しく入らなかったりする可能性があります。必ず USB Type-C 規格に準拠したケーブルを使用してください。

# 付属品の取り付け

ここでは各機器への付属品の取り付けかたについて説明しています。

## ボディパケットランスマッター (UTX-B40) への付属品取り付け

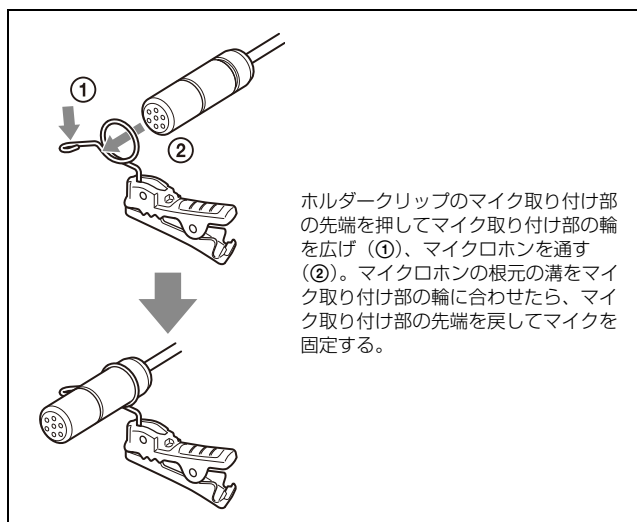
### マイクロホンを接続する



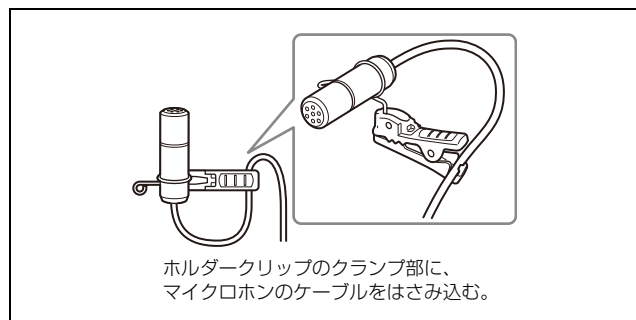
#### ご注意

マイクロホンの接続/取り外しは、トランスミッターの電源を切ってから行ってください。

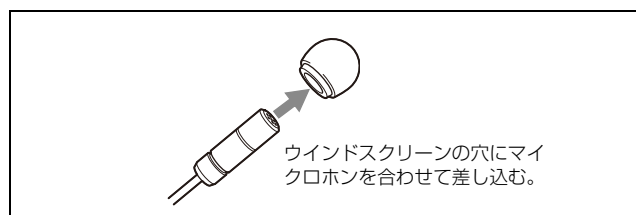
### マイクロホンにホルダークリップを取り付ける



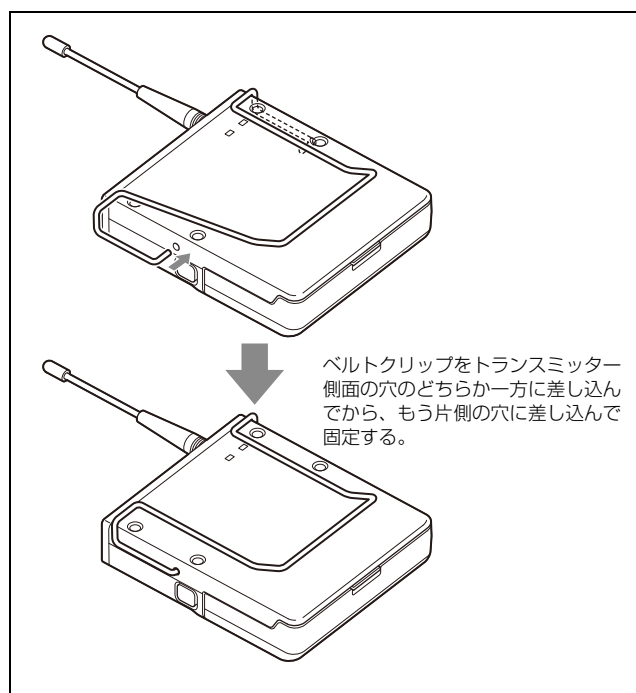
### マイクロホンのケーブルをまとめるには



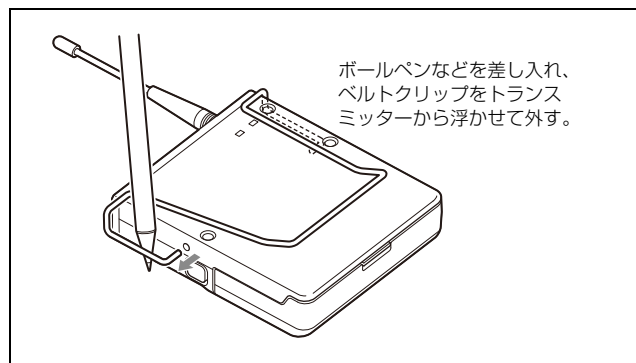
### マイクロホンにウインドスクリーンを取り付ける



### ベルトクリップを取り付ける

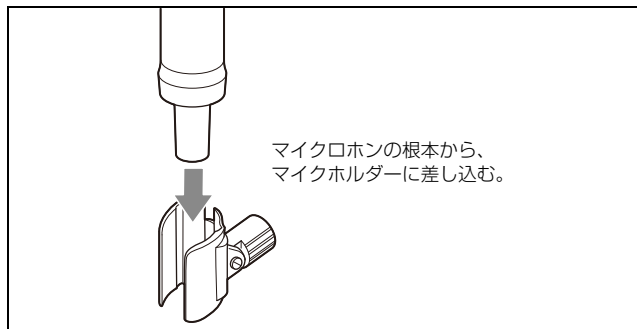


### ベルトクリップを外すには



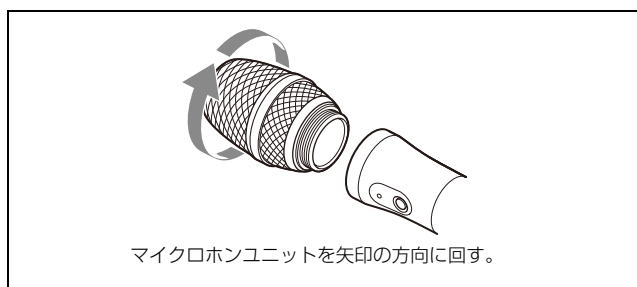
## ハンドヘルドマイクロホン (UTX-M40) への付属品取り付け

### マイクホルダーを取り付ける



### マイクロホンユニットを交換する

#### マイクロホンユニットを取り外す

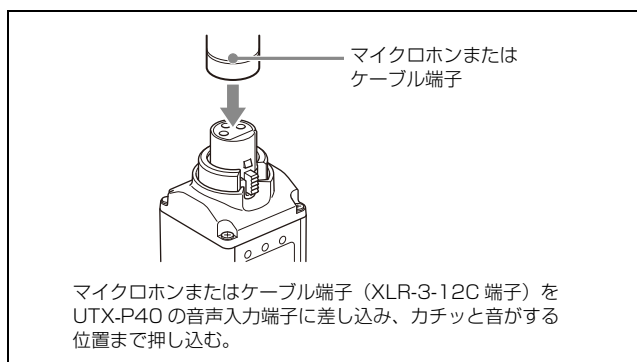


#### マイクロホンユニットを取り付ける

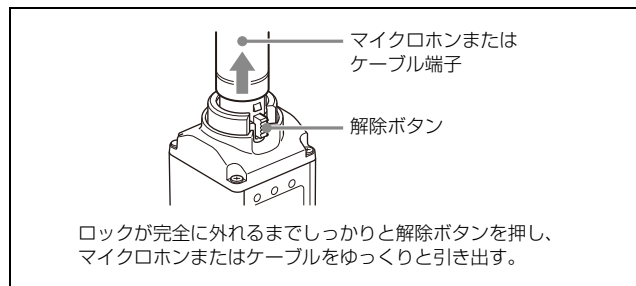
マイクロホンユニットを取り外し時と反対に回して、しっかりマイクロホン本体に取り付けます。

## プラグオントランスミッター (UTX-P40) への外部機器の取り付け

### マイクロホンまたはケーブル端子を取り付ける

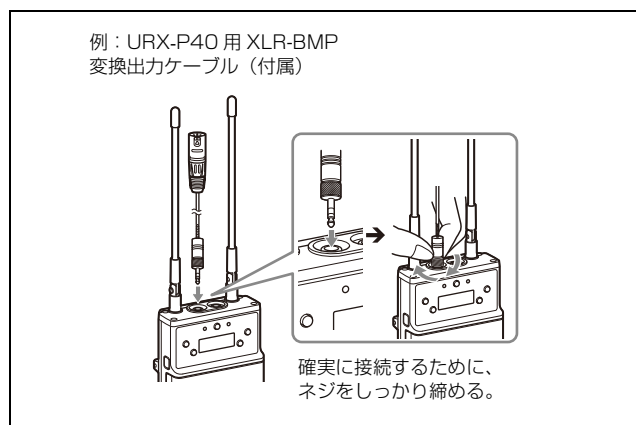


### マイクロホンまたはケーブル端子を取り外す



## ポータブルダイバーシティチューナー (URX-P40) への付属品取り付け

### OUTPUT 端子に付属の変換ケーブルを接続する



### ベルトクリップを取り付ける

◆「ベルトクリップを取り付ける」(15 ページ) を参照してください。

### シューマウントアダプターを取り付ける

あらかじめベルトクリップを取り付けておいてください (15 ページ)。

#### ご注意

シューマウントアダプターを取り付ける場合は、ベルトクリップの向きを上下逆さにして取り付けてください。



# 操作

この操作の対象：UWP-D シリーズのすべての機器  
(UTX-B40/M40/P40 および URX-P40)

1 必要に応じて、受信機の接続をする。

◆ 接続例について詳しくは、「システム構成例」(30 ページ)をご覧ください。

2 受信機の POWER ボタンを 1 秒以上長押しして、電源を入れる。

## ご注意

電源を入れるとノイズが発生する場合がありますので、受信機に接続した機器の音声入力レベルを絞ってから電源を入れてください。

3 受信機の NFC SYNC ボタンを 4 秒以上長押しする。

クリアチャンネルスキャンがスタートし、設定されているチャンネルグループ内で空いているチャンネルを探します。

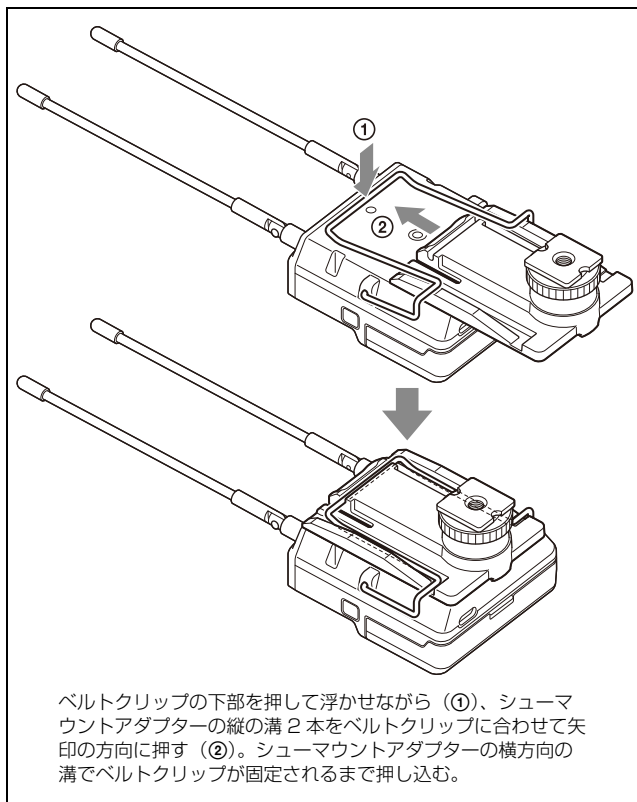
クリアチャンネルスキャンが完了すると、雑音や妨害電波の影響が最も少ないチャンネルに設定されます。

チャンネルが設定されると、自動的に NFC 送信を開始します。

◆ グループの設定方法について詳しくは、「受信チャンネルを設定する」(19 ページ)をご覧ください。

4 受信機と送信機の N マーク同士を近づける (目安は 5 mm 程度)。

このとき送信機は、電源 ON の状態、または電池残量が充分かつ電源 OFF の状態にしてください。

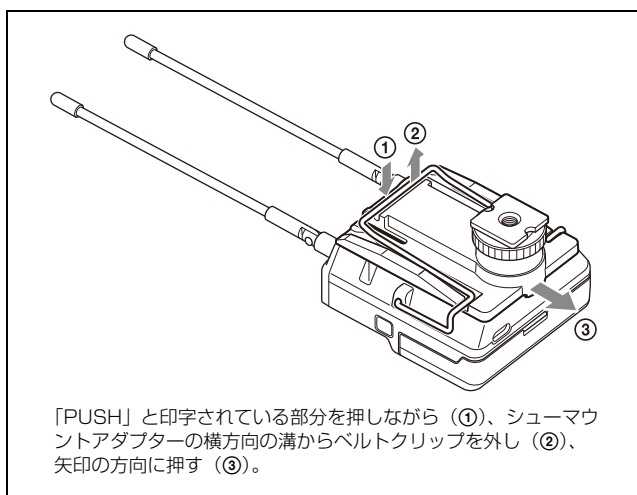


ベルトクリップの下部を押し浮かせながら (①)、シューマウントアダプターの縦の溝 2 本をベルトクリップに合わせて矢印の方向に押し (②)。シューマウントアダプターの横方向の溝でベルトクリップが固定されるまで押し込む。

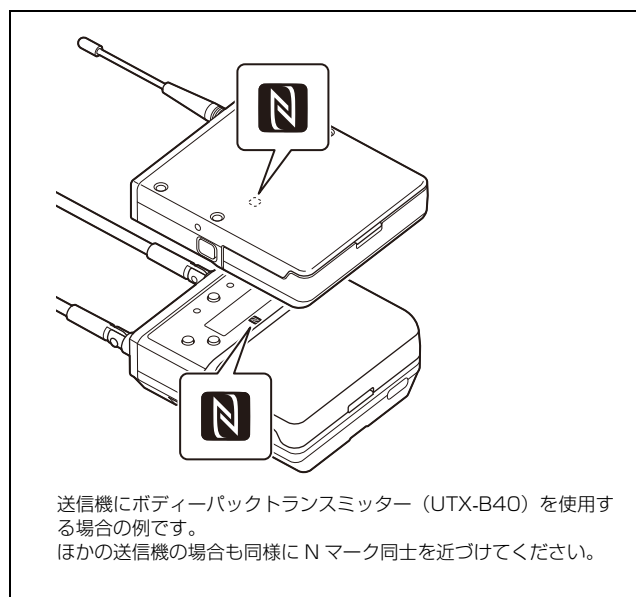
## ご注意

カムコーダーに取り付ける場合は、URX-P40 のアンテナが画面に映り込むのを防ぐため、アンテナを折り曲げて使用してください。

## シューマウントアダプターを取り外すには



「PUSH」と印字されている部分を押しながら (①)、シューマウントアダプターの横方向の溝からベルトクリップを外し (②)、矢印の方向に押し (③)。



送信機にポディーバックトランスミッター (UTX-B40) を使用する場合があります。ほかの送信機の場合も同様に N マーク同士を近づけてください。

受信機で設定したチャンネル情報が送信機へ送られ、送信チャンネルが設定されます。

送信機と受信機のディスプレイに COMPLETE と表示され、送信機が振動すると設定は完了です。送信機が電源 OFF の状態で NFC 通信を行った場合には、送信機は自動的に電源 ON し、送信状態になります。

#### ご注意

- NFC 通信は、約 20 秒間行われます。手順 3 の操作をしてから 20 秒以内に手順 4 の操作を行ってください。20 秒を超えてしまった場合は、受信機の SYNC RX->TX メニューから再度 NFC 送信ができます。
- NFC を利用した通信のため、周囲の環境によっては正常に通信できない場合があります。そのときは受信機の SYNC RX->TX メニューから、再度設定してください。
- 受信機のディスプレイに COMPLETE と表示されていても送信機が振動しない場合は、設定が完了していない可能性があります。その場合は、受信機の SYNC RX->TX メニューから再度設定ください。

## 雑音が発生するときは

設置場所によっては、外来雑音や妨害電波などの影響で雑音が発生し、使用できないチャンネルが生じることがあります。このような場合は、使用チャンネルを設定するときに、送信機の電源を OFF にしたまま受信機のチャンネルを切り換え、RF インジケータが点灯していないチャンネル（雑音や妨害電波の影響を受けていないチャンネル）を選択して使用してください。送信機も同じチャンネルに設定してください。

#### ご注意

- 混信や雑音を防ぐため、次の点に注意してください。
- 同じチャンネルに設定した送信機を同時に2本以上使わないでください。
  - UWP-D シリーズを同時に 2 組以上使用する場合は、同一グループ内の互いに異なるチャンネルにそれぞれ設定してください。
  - 送信機と受信機のアンテナは、互いに 3 m 以上離して使うことをおすすめします。
  - 2 組以上の UWP-D シリーズで異なるチャンネルグループを使用する場合は、仕切りや障害物がなく見通せる広い空間では、システム間の距離を 100 m 以上離してください（距離は使用環境により異なります）。

# 受信機の設定

## メニュー構成と操作方法

この操作の対象：ポータブルダイバーシティチューナー (URX-P40)

メニューの表示モードには 2 種類あり、用途に応じて使い分けることができます。

### シンプルモード

受信および音声出力に必要な基本設定のみが表示されるモードです。

MENU MODE（メニュー表示モード）を SIMPLE に設定すると、シンプルモードでの表示となります。

#### 設定メニューの種類

- GP/CH（グループ／チャンネル）選択
- PHONES（モニター音量）設定
- BAND（周波数帯域）選択（日本国内向けモデルおよび韓国向けモデルには、このメニューはありません）
- CLR CH SCAN（クリアチャンネルスキャン）機能
- OUTPUT LEVEL（オーディオ出力レベル）設定
- SYNC RX->TX（NFC 通信）機能
- SYNC TX->RX（NFC 通信）機能
- POWER LOCK（POWER ボタンロック）機能
- RUNNING TIME（累積使用時間）表示
- MENU MODE（メニュー表示モード）設定

### 拡張モード

すべての設定メニューが表示されるモードです。

MENU MODE（メニュー表示モード）を ADVANCED に設定すると、拡張モードでの表示となります。

#### ご注意

シンプルモードで使用する場合でも、拡張モードで最後に設定した内容が反映されます。

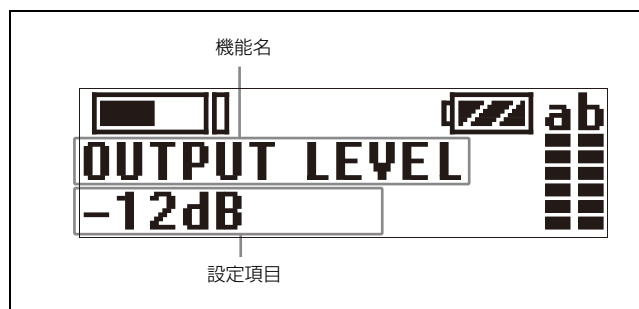
#### 設定メニューの種類

- GP/CH（グループ／チャンネル）選択
- PHONES（モニター音量）設定
- BAND（周波数帯域）選択（日本国内向けモデルおよび韓国向けモデルには、このメニューはありません）
- CLR CH SCAN（クリアチャンネルスキャン）機能
- OUTPUT LEVEL（オーディオ出力レベル）設定
- SYNC RX->TX（NFC 通信）機能
- SYNC TX->RX（NFC 通信）機能
- POWER LOCK（POWER ボタンロック）機能
- RUNNING TIME（累積使用時間）表示
- MENU MODE（メニュー表示モード）設定
- MONITOR MODE（モニター音量画面固定）機能
- CH MEMORY（前回設定チャンネル記憶）機能

- POWER SOURCE (外部電源選択) 設定
- ACT CH SCAN (アクティブチャンネルスキャン) 機能
- COMPANDER (コンパンダーモード) 設定
- BATTERY TYPE (電池の種類) 設定
- DISPLAY MODE (ディスプレイの設定) 機能
- BRIGHTNESS (ディスプレイの明るさ) 設定
- FCT RESET (工場出荷設定) 機能
- VERSION (ソフトウェアバージョン) 表示

## メニューの基本操作

メニューの基本的な操作は、シンプルモードと拡張モードで共通です。



- 1 +または-ボタンを押して、設定したい機能画面を表示させる。
- 2 設定項目が点滅するまでSETボタンを長押しする。
- 3 +または-ボタンを押して、設定を変更する。
- 4 SETボタンを押して決定する。

### ご注意

何も操作せずに30秒経過すると、ディスプレイが消灯または減光します。何かボタンを押すと、再度ディスプレイが点灯します。

- ◆ ディスプレイの設定について詳しくは、「ディスプレイの表示設定を変更する (DISPLAY MODE)」(24ページ)をご覧ください。

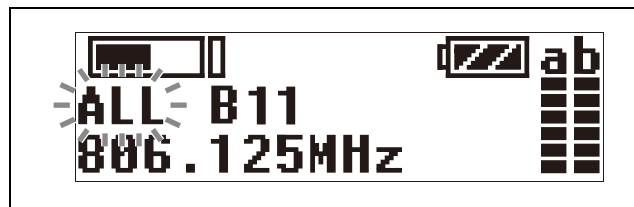
## 受信チャンネルを設定する

この操作の対象：ポータブルダイバーシティチューナー (URX-P40)

選択可能なチャンネルグループとチャンネルについては、CD-ROMに収録されている「周波数リスト」を参照してください。

- 1 +または-ボタンを使ってGP/CHメニューを表示させる。
- 2 SETボタンを1秒以上長押しする。

チャンネルグループ表示が点滅します。



- 3 +または-ボタンを押して、希望のグループ名を選択し、SETボタンを押す。

チャンネルグループが設定され、チャンネル番号表示が点滅します。



- 4 +または-ボタンを押して、希望のチャンネル番号を選択し、SETボタンを押す。

点滅表示が終了し、希望のチャンネルに設定されます。

### ご注意

- チャンネルグループ表示またはチャンネル番号表示の点滅中に、10秒間どのボタンも押さないと、点滅時の設定値で保存されます。この動作は、ほかの項目を設定する場合も同じです。
- 周波数表示は、チャンネル番号に応じて表示が変わります。
- 受信チャンネルの設定中でも、受信はできます。
- 設定中に電池を抜かないでください。抜けてしまった場合は、電池を入れ直し、設定の手順を最初から行ってください。
- 同一システム内の送信機と受信機は同じチャンネルに設定してください。

## グループ内の空きチャンネルを検索する (クリアチャンネルスキャン)

この操作の対象：ポータブルダイバーシティチューナー (URX-P40)

設定されているチャンネルグループ内の空きチャンネルを検索することができます。

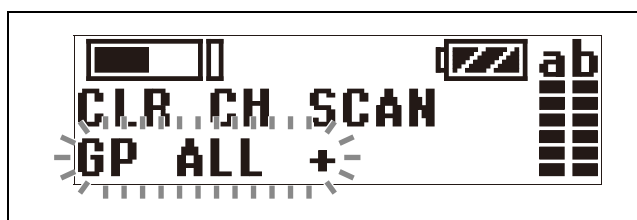
以下の操作を行う前に、あらかじめチャンネルグループを設定しておいてください。

- ◆ 詳しくは「受信チャンネルを設定する」(19ページ)をご覧ください。

- 1 +または-ボタンを押して、CLR CH SCANメニューを表示させる。

## 2 SET ボタンを1秒以上長押しする。

チャンネルグループ表示と、+表示が点滅するまで長押ししてください。



## 3 + ボタンを押す。

設定されているチャンネルグループの中で、使用可能な空きチャンネルを検索します。空きチャンネルが見つかったら、最初の空きチャンネルの番号が点滅します。

### 次の空きチャンネルを表示させるには

+ ボタンを押します。

### 検索をキャンセルするには

- ボタンを押します。CLR CH SCAN メニュー画面に戻ります。

## 4 希望のチャンネル番号が点滅したら、SET ボタンを押す。

空きチャンネルの検索が終了し、表示されているチャンネルが確定します。

チャンネルを確定させると NFC 通信で設定を送信するかどうかを選択できます。

## 5 YES を選択し、受信機と送信機の N マークを近づける。

受信機で設定したチャンネル情報が送信機へ送られ、送信チャンネルが設定されます。

送信機のチャンネル設定を行いたくない場合は、NO を選択するか、何も操作せずに 10 秒経過させると、送信機への設定の送信は行われません。

## 自動的にチャンネルスキャンを行うには

受信機の電源が ON のときに、NFC SYNC ボタンを 4 秒以上長押しすると、自動的にクリアチャンネルスキャンが行われます。

## グループ内の使用チャンネルを検索する (アクティブチャンネルスキャン)

この操作の対象：ポータブルダイバーシティチューナー (URX-P40)

設定されているチャンネルグループ内で、すでに使用しているチャンネルを検索することができます。複数の受信機を、1 つの送信機と組み合わせて同時に使う際に便利です。以下の操作を行う前に、あらかじめチャンネルグループを設定しておいてください。

◆ 詳しくは「受信チャンネルを設定する」(19 ページ) をご覧ください。

## 1 + または - ボタンを押して、ACT CH SCAN メニューを表示させる。

## 2 SET ボタンを1秒以上長押しする。

チャンネルグループ表示と、+表示が点滅するまで長押ししてください。



## 3 + ボタンを押す。

設定されているチャンネルグループの中で、すでに使用しているチャンネルを検索します。使用チャンネルが見つかったら、最初の使用チャンネルの番号が点滅します。

### 次の使用チャンネルを表示させるには

+ ボタンを押します。

### 検索をキャンセルするには

- ボタンを押します。ACT CH SCAN メニュー画面に戻ります。

## 4 希望のチャンネル番号が点滅したら、SET ボタンを押す。

使用チャンネルの検索が終了し、表示されているチャンネルが確定します。

## モニター音量を調節する

この操作の対象：ポータブルダイバーシティチューナー (URX-P40)

モニター音量は、1～16の範囲で設定できます。

- 1 +または-ボタンを押して、PHONES メニューを表示させる。

現在のモニター音量のレベルが表示されます。



- 2 SET ボタンを1秒以上長押しする。

モニター音量レベルが点滅するまで長押ししてください。

- 3 +または-ボタンを押して希望のモニター音量レベルに設定し、SET ボタンを押す。

設定値が記憶されます。設定値は、電源を切っても保持されます。

## 設定メニュー

この操作の対象：ポータブルダイバーシティチューナー (URX-P40)

ここでは、各機能と変更項目を説明します。  
下線表記は工場出荷時の設定です。

### グループ／チャンネルを選択する (GP/CH)

工場出荷時の設定は、お使いのモデルにより異なります。

- ◆ 詳しくは「受信チャンネルを設定する」(19ページ)をご覧ください。

### モニター音量を調節する (PHONES)

ヘッドホンのモニター音量を調節します。  
工場出荷時の設定は12です。

- ◆ 詳しくは「モニター音量を調節する」(21ページ)をご覧ください。

## 周波数帯域を選択する (BAND)

受信周波数帯域を選択します。

### ご注意

日本国内向けモデルおよび韓国向けモデルには、このメニューはありません。これらのモデルでは、周波数帯域は選択できません。

- ◆ 各周波数帯域に含まれるグループとチャンネルについて、詳しくはCD-ROMに収録されている周波数リストをご覧ください。

## 空きチャンネルを探して選択する (CLR CH SCAN)

空きチャンネルを検索します。

- ◆ 詳しくは「グループ内の空きチャンネルを検索する (クリアチャンネルスキャン)」(19ページ)をご覧ください。

## オーディオ出力レベルを設定する (OUTPUT LEVEL)

音声の出力レベルを設定します。-12 dB から +12 dB まで、3 dB 刻みで設定できます。工場出荷時の設定は0 dB です。

### ご注意

OUTPUT LEVEL メニューで出力レベルを変更しても、モニター出力レベルは変わりません。モニター出力レベルは別途調節してください。

- ◆ モニター音量の調節方法について詳しくは、「モニター音量を調節する」(21ページ)をご覧ください。

## NFC 通信で送信機の設定を行う (SYNC RX->TX)

NFC 通信を使って、受信機で設定した周波数およびコンパウンダーモードを送信機に送信します。

- 1 +または-ボタンを押して、SYNC RX->TX メニューを表示させる。

- 2 SET ボタンを1秒以上長押しする。

確認画面に切り替わります。

- 3 +または-ボタンを押して「YES」を表示させ、SET ボタンを押す。

- 4 受信機と送信機のNマーク同士を近づける (目安は5 mm 程度)。

このとき送信機は、電源ONの状態、または電池残量が充分かつ電源OFFの状態にしてください。

送信機の使用周波数およびコンパウンダーモードが設定されます。

### ご注意

- NFC 通信は、約 20 秒間行われます。手順 **3** の操作をしてから 20 秒以内に手順 **4** の操作を行ってください。20 秒を超えると、自動的に NFC 通信を終了し、GP/CH メニューが表示されます。
- NFC 通信中は、ワイヤレスマイクの電波は受信できません。

## NFC 通信で送信機の設定を受信機に反映させる (SYNC TX->RX)

NFC 通信を使って、送信機に設定されている周波数およびコンパンダーモードを取得し、受信機に反映します。

- 1** +または-ボタンを押して、SYNC TX->RX メニューを表示させる。
- 2** SET ボタンを 1 秒以上長押しする。  
確認画面に切り替わります。
- 3** +または-ボタンを押して「YES」を表示させ、SET ボタンを押す。
- 4** 受信機と送信機の N マーク同士を近づける (目安は 5 mm 程度)。

このとき送信機は、電源 ON の状態、または電池残量が充分かつ電源 OFF の状態にしてください。  
受信機の使用周波数およびコンパンダーモードが設定されます。

### ご注意

- NFC 通信は、約 20 秒間行われます。手順 **3** の操作をしてから 20 秒以内に手順 **4** の操作を行ってください。20 秒を超えると、自動的に NFC 通信を終了し、GP/CH メニューが表示されます。
- NFC 通信中は、ワイヤレスマイクの電波は受信できません。

## POWER ボタンをロックする (POWER LOCK)

受信中に電源を OFF にしてしまうなどの誤操作を防ぐため、POWER ボタンをロックすることができます。

**UNLOCK** : POWER ボタンを長押しすると、電源の ON/OFF ができます。

**LOCK** : POWER ボタンを長押ししても、電源の OFF ができません。

## ロック状態を解除するには

ロック状態を解除するには POWER LOCK メニューで UNLOCK に設定するか、以下の操作を行ってください。

- 1** LOCK に設定された状態で、POWER ボタンを長押しする。  
ロック状態を解除するかを確認するメッセージが表示されます。
- 2** +または-ボタンを使って YES を選択し、SET ボタンを押す。  
ロック状態が解除されます。

### ご注意

LOCK に設定された状態で電池を引き抜き、再度装着した場合には自動的に電源が ON になりますが、POWER ボタンのロック状態は変わりません。

## 累積使用時間を表示する (RUNNING TIME)

使用時間の目安として、受信機の累積使用時間を表示します。  
工場出荷時の設定は、00:00 です。99:99 まで表示が可能です。

## 時間表示をリセットするには

- 1** 時間表示が点滅するまで SET ボタンを長押しする。
- 2** -ボタンを押し、「00:00 CLR」が表示された状態で SET ボタンを押す。  
「00:00 CLR」が表示された状態で+ボタンを押すと、時間表示が点滅します。この状態で SET ボタンを押すと、累積使用時間のリセットがキャンセルされます。

## メニュー表示モードを設定する (MENU MODE)

メニューの表示モードを設定します。


**SIMPLE** : 基本的な設定のみが表示されるモードです。  
**ADVANCED** : すべての設定が表示されるモードです。

## モニター音量モードを使用する (MONITOR MODE)

有効にすると、ディスプレイ表示がモニター音量画面に固定され、+または-ボタンを押すとモニター音量の変更のみを行えるようにする機能です。

- 1** +または-ボタンを押して、MONITOR MODE メニューを表示させる。
- 2** SET ボタンを 1 秒以上長押しする。

- 3 +または-ボタンを押して「ON」を表示させ、SET ボタンを押す。

モニター音量モードになり、が表示されます。

#### モニター音量モードを解除するには

- 1 「ESCAPE?」と表示されるまで、SET ボタン、POWER ボタン、または NFC SYNC ボタンを1秒以上長押しする。

- 2 +または-ボタンを押して「YES」を表示させ、SET ボタンを押す。

固定が解除されます。

#### ご注意

- この機能は拡張モード時のみ表示されます。
- 電源をOFFにするとこの機能は解除されます。電源をONした後に再度設定してください。

### 直前に設定されていたチャンネルに切り換える (CH MEMORY)

直前に設定されていたチャンネルに切り換えます。1つの受信機を2つの送信機と組み合わせて同時に使う際に便利です。

あらかじめ、使用したいチャンネルに設定しておいてください。

- ◆ チャンネル設定方法について詳しくは「受信チャンネルを設定する」(19ページ)をご覧ください。

- 1 +または-ボタンを押して、CH MEMORY メニューを表示させる。

- 2 「YES?」が点滅するまで SET ボタンを長押しする。

- 3 SET ボタンを押す。

直前に設定されていたチャンネルと現在設定されているチャンネルが表示されます。

+または-ボタンを押すごとにチャンネルが切り換わります。

#### CH MEMORY 機能を終了するには

- 1 「CANCEL?」と表示されるまで、SET ボタンを長押しする。

- 2 +または-ボタンを押して「YES」を表示させ、SET ボタンを押す。

CH MEMORY メニューに戻ります。

#### ご注意

- この機能は拡張モード時のみ表示されます。
- 工場出荷時のチャンネル設定のままでこの機能を有効にすると、工場出荷時のチャンネルが2つ表示されます。
- この機能を使用している間は NFC SYNC ボタンが無効になります。NFC SYNC ボタンを使いたいときは、この機能を無効にしてください。
- BAND を変更した場合は、変更後の BAND の既定のチャンネルが直前に設定されていたチャンネルとして記憶されます。

### 優先的に使用する電源を選択する (POWER SOURCE)

本体に装着した電池と、USB 端子に接続した USB ポータブル電源や外部接続用端子に接続したアクセサリとの、どちらから優先的に電源供給するかを設定します。

**BATT -> EXT** : 本体に装着した電池を優先的に使用します。

**EXT -> BATT** : USB 端子または外部接続用端子から供給される電源を優先的に使用します。

**BATT ONLY** : 本体に装着した電池を使用し、残量がなくなっても USB 端子や外部接続用端子から供給される電源には切り替わりません。

#### ご注意

- BATT -> EXT および EXT -> BATT に設定している場合は、優先的に使用している電源が切れると、自動的にもう一方からの電源供給に切り替わります。そのため、電源がひとつだけ接続されている場合は、POWER SOURCE の設定に関わらず接続されている電源から供給されます。なお、供給される電源が切り替わる際に音切れが発生することがあります。
- USB 端子と外部接続用端子の両方から電源が供給されている場合は、USB 端子からの供給を選択します。

### すでに使用されているチャンネルに設定する (ACT CH SCAN)

すでに使用されているチャンネルを検索します。複数の受信機を、1つの送信機と組み合わせて同時に使う際に便利です。

#### ご注意

この機能は、拡張モード時のみ表示されます。

- ◆ 詳しくは「グループ内の使用チャンネルを検索する (アクティブチャンネルスキャン)」(20ページ)をご覧ください。

### コンパnderモードを設定する (COMPANDER)

コンパnderの動作モードを設定します。

**UWP-D** : UWP-D シリーズ同士の組み合わせで使用できる、高音質モードです。

**UWP**：ソニー UWP シリーズの送信機と組み合わせて使用できるモードです。

**WL800**：ソニー 800 シリーズの送信機と組み合わせて使用できるモードです。

#### ご注意

- この機能は、拡張モード時のみ表示されます。
- コンバンダーモードの設定が異なる組み合わせで使用すると、トーン信号周波数が異なるため、音が出ません。

## 電池の種類を設定する (BATTERY TYPE)

使用している電池の種類に合わせて設定しておくこと、より正確に電池残量を表示できます。

**TYPE1**：アルカリ単3形乾電池をお使いになるときの推奨設定です。新品のソニーアルカリ単3形乾電池の特性を基準に残量を表示します。

**TYPE2**：充電式ニッケル水素電池をお使いになるときの推奨設定です。

**TYPE3**：リチウム電池をお使いになるときの推奨設定です。

#### ご注意

- この機能は、拡張モード時のみ表示されます。
- 電池の特性は、電池の種類や使用環境などによって変わります。ご使用になる電池の特性をあらかじめご理解のうえ、使用することをおすすめします。

## ディスプレイの表示設定を変更する (DISPLAY MODE)

ボタン操作せずに30秒経過したときの有機ELディスプレイの表示のしかたを変更する機能です。

**AUTO OFF**：ボタン操作せずに30秒経過すると消灯します。ボタンを押すと点灯します。

**DIMMER**：ボタン操作せずに30秒経過すると減光します。ボタンを押すと点灯します。

#### ご注意

この機能は拡張モード時のみ表示されます。

## 表示の明るさを設定する (BRIGHTNESS)

有機ELディスプレイの明るさを10段階で調整します。設定できる値は以下のとおりです。

(暗) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 (明)

#### ご注意

この機能は、拡張モード時のみ表示されます。

## 工場出荷設定に戻す (FCT RESET)

すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

SET ボタンを長押しすると、工場出荷設定に戻すことを確認するメッセージが表示されます。+または-ボタンを押してYESを選択し、SET ボタンを押すと、受信機の設定が工場出荷設定に戻ります。

#### ご注意

- この機能は、拡張モード時のみ表示されます。
- リセット時には、オーディオ出力レベルやモニター出力レベルも工場出荷設定に戻ります。接続機器やヘッドホンの音量が急激に変わることがありますので、充分にご注意ください。

## ソフトウェアバージョンを表示する (VERSION)

受信機のソフトウェアバージョンを表示します。

#### ご注意

この機能は、拡張モード時のみ表示されます。



# 送信機の設定

## メニュー構成と操作方法

この操作の対象：すべての送信機 (UTX-B40/M40/P40)

メニューの表示モードには3種類あり、用途に応じて使い分けることができます。

### シンプルモード

音声の送信に必要な基本設定のみが表示されるモードです。MENU MODE (メニュー表示モード) を SIMPLE に設定すると、シンプルモードでの表示となります。

#### 設定メニューの種類

- GP/CH (グループ/チャンネル) 選択
- BAND (周波数帯域) 選択 (日本国内向けモデルおよび韓国向けモデルには、このメニューはありません)
- ATTENUATOR (アッテネーター) 設定
- GAIN MODE (オーディオゲイン) 設定
- LCF (ローカットフィルター) 設定
- INPUT LEVEL (オーディオ入力レベル) 選択 (UTX-B40/P40 のみ)
- RF POWER (RF 送信出力レベル) 選択
- +48V SUPPLY (+48 V 電源) 設定 (UTX-P40 のみ)
- POWER LOCK (POWER ボタンロック) 機能
- RUNNING TIME (累積使用時間) 表示
- MENU MODE (メニュー表示モード) 設定

#### ご注意

以下の設定メニューは、送信中は変更できません。送信停止モードで設定してください。

- GP/CH (グループ/チャンネル) 選択
- BAND (周波数帯域) 選択 (日本国内向けモデルおよび韓国向けモデルには、このメニューはありません)
- RF POWER (RF 送信出力レベル) 選択

### 拡張モード

すべての設定メニューが表示されるモードです。MENU MODE (メニュー表示モード) を ADVANCED に設定すると、拡張モードでの表示となります。

#### ご注意

シンプルモードで使用する場合でも、拡張モードで最後に設定した内容が反映されます。

#### 設定メニューの種類

- GP/CH (グループ/チャンネル) 選択
- BAND (周波数帯域) 選択 (日本国内向けモデルおよび韓国向けモデルには、このメニューはありません)
- ATTENUATOR (アッテネーター) 設定

- GAIN MODE (オーディオゲイン) 設定
- LCF (ローカットフィルター) 設定
- INPUT LEVEL (オーディオ入力レベル) 選択 (UTX-B40/P40 のみ)
- RF POWER (RF 送信出力レベル) 選択
- +48V SUPPLY (+48 V 電源) 設定 (UTX-P40 のみ)
- POWER LOCK (POWER ボタンロック) 機能
- RUNNING TIME (累積使用時間) 表示
- MENU MODE (メニュー表示モード) 設定
- MUTE SETTING (消音設定) 機能 (UTX-B40/P40 のみ)
- POWER/MUTE (電源/消音) 設定 (UTX-M40 のみ)
- AUDIO PHASE (位相切り換え) 設定 (UTX-B40 のみ)
- COMPANDER (コンパンダーモード) 設定
- OCUPNCY SENS (人感センサーモード) 設定
- BATTERY TYPE (電池の種類) 設定
- DISPLAY MODE (ディスプレイの設定) 機能
- BRIGHTNESS (ディスプレイの明るさ) 設定
- FCT RESET (工場出荷設定) 機能
- VERSION (ソフトウェアバージョン) 表示

#### ご注意

以下の設定メニューは、送信中は変更できません。送信停止モードで設定してください。

- GP/CH (グループ/チャンネル) 選択
- BAND (周波数帯域) 選択 (日本国内向けモデルおよび韓国向けモデルには、このメニューはありません)
- RF POWER (RF 送信出力レベル) 選択
- FCT RESET (工場出荷設定) 機能

### 送信停止モード

電波の送信を停止した状態で、設定を変更できるモードです。

チャンネル設定の際など、意図しない電波を発射してほかの無線に妨害を与えないようにするには、このモードを使用します。

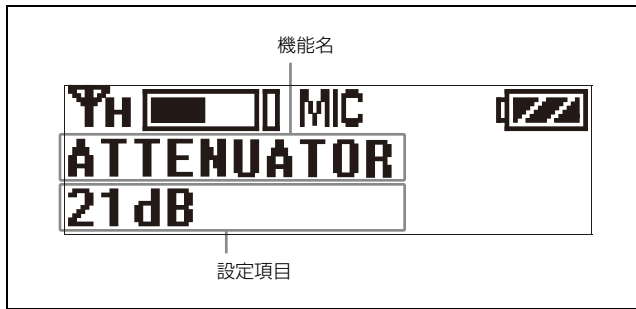
電源 OFF の状態から、SET ボタンを押しながら POWER ボタンまたは POWER/MUTE ボタンを1秒以上長押しして電源を ON にすると、送信停止モードでの表示となります。

以下の設定メニューは、送信停止モードでのみ変更できます。

- GP/CH (グループ/チャンネル) 選択
- BAND (周波数帯域) 選択 (日本国内向けモデルおよび韓国向けモデルには、このメニューはありません)
- RF POWER (RF 送信出力レベル) 選択
- FCT RESET (工場出荷設定) 機能

### メニューの基本操作

メニューの基本的な操作は、シンプルモード、拡張モードおよび送信停止モードで共通です。



- 1 +または-ボタンを押して、設定したい機能画面を表示させる。
- 2 設定項目が点滅するまでSET ボタンを長押しする。
- 3 +または-ボタンを押して、設定を変更する。
- 4 SET ボタンを押して決定する。

#### で注意

何も操作せずに30秒経過すると、ディスプレイが消灯または減光します。何かボタンを押すと、再度ディスプレイが点灯します。

- ◆ ディスプレイの設定について詳しくは、「ディスプレイの表示設定を変更する (DISPLAY MODE)」(29ページ)をご覧ください。

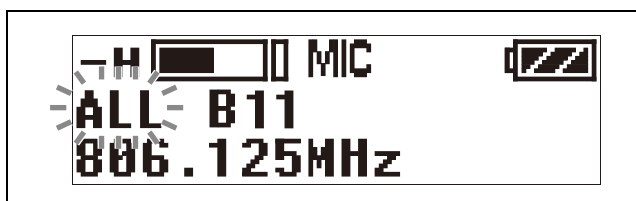
## 送信チャンネルを設定する

この操作の対象：すべての送信機 (UTX-B40/M40/P40)

選択可能なチャンネルグループとチャンネルについては、CD-ROMに収録されている「周波数リスト」を参照してください。

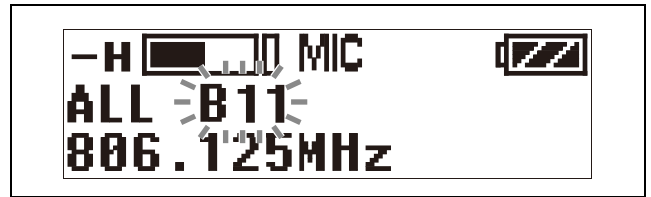
- 1 SET ボタンを押しながら POWER ボタンまたは POWER/MUTE ボタンを長押しし、電源を ON にする。
- 2 +または-ボタンを使って GP/CH メニューを表示させる。
- 3 SET ボタンを1秒以上長押しする。

チャンネルグループ表示が点滅するまで長押ししてください。



- 4 +または-ボタンを押して、希望のグループ名を選択し、SET ボタンを押す。

チャンネルグループが設定され、チャンネル番号表示が点滅します。



- 5 +または-ボタンを押して、希望のチャンネル番号を選択し、SET ボタンを押す。

点滅表示が終了し、希望のチャンネルに設定されます。

#### で注意

- チャンネルグループ表示またはチャンネル番号表示の点滅中に、10秒間どのボタンも押さないと、点滅時の設定値で保存されます。この動作は、ほかの項目を設定する場合も同じです。
- 周波数表示は、チャンネル番号に応じて表示が変わります。
- 設定中には、電池を抜かないでください。抜けてしまった場合は、電池を入れ直し、設定の手順を最初から行ってください。
- 同一システム内の送信機と受信機は同じチャンネルに設定してください。

## 設定メニュー

この操作の対象：すべての送信機 (UTX-B40/M40/P40)

ここでは、各機能と変更項目を説明します。  
下線表記は工場出荷時の設定です。

### グループ/チャンネルを選択する (GP/CH)

工場出荷時の設定は、お使いのモデルにより異なります。

- ◆ 詳しくは「送信チャンネルを設定する」(26ページ)をご覧ください。

#### で注意

この機能は、送信停止モード時のみ変更できます。

### 周波数帯域を選択する (BAND)

送信周波数帯域を選択します。

#### で注意

- この機能は、送信停止モード時のみ変更できます。

- 日本国内向けモデルおよび韓国向けモデルには、このメニューはありません。これらのモデルでは、周波数帯域は選択できません。

◆ 各周波数帯域に含まれるグループとチャンネルについて、詳しくはCD-ROMに収録されている周波数リストをご覧ください。

## 音声入力のアッテネーターレベルを調整する (ATTENUATOR)

音声入力がひずまないように、アッテネーターレベルを3 dB 刻みで設定できます。

工場出荷時の設定は、UTX-B40 は 9 dB、UTX-M40/P40 は 0 dB です。

### ご注意

- UTX-B40/P40 では、INPUT LEVEL を LINE に設定しているときおよび GAIN MODE を AUTO GAIN に設定しているときは、「--」と表示され、アッテネーターレベルの設定はできません (固定)。
- アッテネーターレベルを大きくすると、雑音が増えることがあります。ラベリアマイクロホンを胸元に付けて使用する場合は、できるだけ 0 dB に設定してください。

## 音声のゲインを設定する (GAIN MODE)

**AUTO GAIN** : ゲインを高く設定し、リミッターにより歪みにくくする設定です。

**NORMAL** : アッテネーターレベルの調整が可能です。接続するマイクロホンに合わせてアッテネーターを調整できます。

**15dB BOOST** : マイクロホンが口元から離れてしまい、オーディオレベルが足りない場合に 15 dB のゲインを加える設定です。

### ご注意

- UTX-B40/P40 では、INPUT LEVEL を LINE に設定しているときは、「--」と表示され、音声のゲインは設定できません。
- GAIN MODE を AUTO GAIN に設定しているときは、ATTENUATOR の設定はできません。
- GAIN MODE の設定を変更すると、受信機に接続した機器やヘッドホンの音量が急激に変わることがありますので、充分にご注意ください。

## ローカットフィルターを設定する (LCF)

風による雑音を低減するため、ローカットフィルターを設定できます。

カットオフ周波数を OFF/LOW/MID/HIGH の 4 段階に設定できます。

**OFF** : フィルターなし

**LOW** : カットオフ周波数 100 Hz

**MID** : カットオフ周波数 150 Hz

**HIGH** : カットオフ周波数 200 Hz

## オーディオ入力レベルを切り換える (INPUT LEVEL) (UTX-B40/P40 のみ)

オーディオ入力機器に応じて、入力レベルを設定します。MIC/LINE の切り換えが可能です。工場出荷時の設定は、MIC です。

### ご注意

- オーディオミキサーなどからの音声の入力中に、この機能を「MIC」に切り換えしないでください。過大なレベルの音声が入力されると、音声のひずみや再生・録音機器の故障の原因となることがあります。
- INPUT LEVEL を LINE に設定しているときは、ATTENUATOR および GAIN MODE は「--」と表示され、設定はできません。

## 送信出力のレベルを設定する (RF POWER)

送信する電波の強さを HIGH または LOW に設定します。それぞれの送信出力は、お使いのモデルによって異なります。

### ご注意

この機能は、送信停止モード時のみ変更できます。

## マイクロホンへの電源供給を設定する (+48V SUPPLY) (UTX-P40 のみ)

外部電源が必要なマイクロホンを使用している場合に、送信機から電源を供給できます。

ON に設定すると、接続したマイクロホンに電源が供給され、+48V インジケーターが点灯します。

工場出荷時の設定は、OFF です。

## POWER ボタンをロックする (POWER LOCK)

送信中に電源を OFF にしてしまうなどの誤操作を防ぐため、POWER ボタンをロックすることができます。

**UNLOCK** : POWER ボタンを長押しすると、電源の ON/OFF ができます。

**LOCK** : POWER ボタンを長押ししても、電源の OFF ができません。

### ロック状態を解除するには

ロック状態を解除するには POWER LOCK メニューで UNLOCK に設定するか、以下の操作を行ってください。

- 1 LOCK に設定された状態で、POWER ボタンを長押しする。

ロック状態を解除するかを確認するメッセージが表示されます。

- 2 +または-ボタンを使って YES を選択し、SET ボタンを押す。

電源が OFF になります。

### ご注意

LOCK に設定された状態で電池を引き抜き、再度装着した場合には自動的に電源が ON になりますが、POWER ボタンのロック状態は変わりません。

## 累積使用時間を表示する (RUNNING TIME)

使用時間の目安として、送信機の累積使用時間を表示します。

工場出荷時の設定は、00:00 です。99:99 まで表示が可能です。

### 時間表示をリセットするには

- 1 時間表示が点滅するまで SET ボタンを長押しする。

- 2 - ボタンを押し、「00:00 CLR」が表示された状態で SET ボタンを押す。

「00:00 CLR」が表示された状態で+ボタンを押すと、時間表示が点滅します。この状態で SET ボタンを押すと、累積使用時間のリセットがキャンセルされます。

## メニュー表示モードを設定する (MENU MODE)

メニューの表示モードを設定します。

**SIMPLE**：基本的な設定のみが表示されるモードです。

**ADVANCED**：すべての設定が表示されるモードです。

## 消音機能の動作を設定する (MUTE SETTING) (UTX-B40/P40 のみ)

送信中に MUTE ボタンを操作することによって消音状態となり、受信機から音声を出力しないようにできます。ここでは、MUTE ボタンでどのような操作を行うと消音状態になるのかを設定します。

**MUTE(ALT)**：MUTE ボタンを押すと消音状態になります。再度 MUTE ボタンを押すと音声が出力されます。

**MUTE HOLD**：MUTE ボタンを押している間は消音状態になり、MUTE ボタンを離すと音声が出力されます。

**PTT HOLD**：MUTE ボタンを押している間は音声が出力され、MUTE ボタンを離すと消音状態になります。

**DISABLE**：MUTE ボタンを操作しても消音状態になりません。

## 消音機能の動作を設定する (POWER/MUTE) (UTX-M40 のみ)

送信中に POWER/MUTE ボタンを操作することによって消音状態となり、受信機から音声を出力しないようにできます。

ここでは、POWER/MUTE ボタンでどのような操作を行うと消音状態になるのか、および POWER/MUTE ボタンでの電源 ON/OFF を有効にするかを設定します。

**POWER/MUTE**：POWER/MUTE ボタンを押すと消音状態になります。再度 POWER/MUTE ボタンを押すと音声が出力されます。また、POWER/MUTE ボタンを1秒以上長押しすると電源を ON/OFF できます。

**MUTE(ALT)**：POWER/MUTE ボタンを押すと消音状態になります。再度 POWER/MUTE ボタンを押すと音声が出力されます。POWER/MUTE ボタンで電源 ON/OFF はできません。

**MUTE HOLD**：POWER/MUTE ボタンを押している間は消音状態になり、POWER/MUTE ボタンを離すと音声が出力されます。POWER/MUTE ボタンで電源 ON/OFF はできません。

**PTT HOLD**：POWER/MUTE ボタンを押している間は音声が出力され、POWER/MUTE ボタンを離すと消音状態になります。POWER/MUTE ボタンで電源 ON/OFF はできません。

**DISABLE**：POWER/MUTE ボタンを操作しても消音状態になりません。また、電源 ON/OFF もできません。

## マイクロホンの位相を切り換える (AUDIO PHASE) (UTX-B40 のみ)

逆位相で出力されるマイクロホン（付属のラベリアマイクロホンは除く）を接続する際に、位相を切り換えることができます。

**NORMAL**：位相を反転しません。付属のラベリアマイクロホンを接続するときは、NORMAL に設定します。

**INVERT**：送信機内部で位相を反転させます。

### ご注意

この機能は、拡張モード時のみ表示されます。

## コンパnderモードを設定する (COMPANDER)

コンパnderの動作モードを設定します。

**UWP-D**：UWP-D シリーズ同士の組み合わせで使用できる、高音質モードです。

**UWP**：ソニー UWP シリーズの受信機と組み合わせて使用できるモードです。

**WL800**：ソニー 800 シリーズの受信機と組み合わせて使用できるモードです。

### ご注意

- この機能は、拡張モード時のみ表示されます。

- コンパウンダーモードの設定が異なる組み合わせで使用すると、トーン信号周波数が異なるため、音が出ません。

## 人感センサーモードを設定する (OCUPNCY SENS)

超音波を使った人感センサーによる、音声への影響を低減するかどうかを設定します。

有効にすると、ハイカットフィルターが働き、ノイズを低減します。

**OFF**：フィルターなし

**LOW**：カットオフ周波数 20 kHz

**HIGH**：カットオフ周波数 15 kHz

### ご注意

この機能は、拡張モード時のみ表示されます。

## 電池の種類を設定する (BATTERY TYPE)

使用している電池の種類に合わせて設定しておくこと、より正確に電池残量を表示できます。

**TYPE1**：アルカリ単3形乾電池をお使いになるときの推奨設定です。新品のソニーアルカリ単3形乾電池の特性を基準に残量を表示します。

**TYPE2**：充電式ニッケル水素電池をお使いになるときの推奨設定です。

**TYPE3**：リチウム電池をお使いになるときの推奨設定です。

### ご注意

- この機能は、拡張モード時のみ表示されます。
- 電池の特性は、電池の種類や使用環境などによって変わります。ご使用になる電池の特性をあらかじめご理解のうえ、使用することをおすすめします。

## ディスプレイの表示設定を変更する (DISPLAY MODE)

ボタン操作せずに30秒経過したときの有機ELディスプレイの表示のしかたを変更する機能です。

**AUTO OFF**：ボタン操作せずに30秒経過すると消灯します。ボタンを押すと点灯します。

**DIMMER**：ボタン操作せずに30秒経過すると減光します。ボタンを押すと点灯します。

### ご注意

この機能は拡張モード時のみ表示されます。

## 表示の明るさを設定する (BRIGHTNESS)

有機ELディスプレイの明るさを10段階で調整します。

設定できる値は以下のとおりです。

(暗) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 (明)

### ご注意

この機能は、拡張モード時のみ表示されます。

## 工場出荷設定に戻す (FCT RESET)

すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

SET ボタンを長押しすると、工場出荷設定に戻すことを確認するメッセージが表示されます。+ または - ボタンを押して YES を選択し、SET ボタンを押すと、送信機の設定が工場出荷設定に戻ります。

### ご注意

- この機能は、送信停止モード時のみ使用できます。
- リセット時には、オーディオ入力レベルも工場出荷設定に戻ります。受信機に接続した機器やヘッドホンの音量が急激に変わることがありますので、充分にご注意ください。

## ソフトウェアバージョンを表示する (VERSION)

送信機のソフトウェアバージョンを表示します。

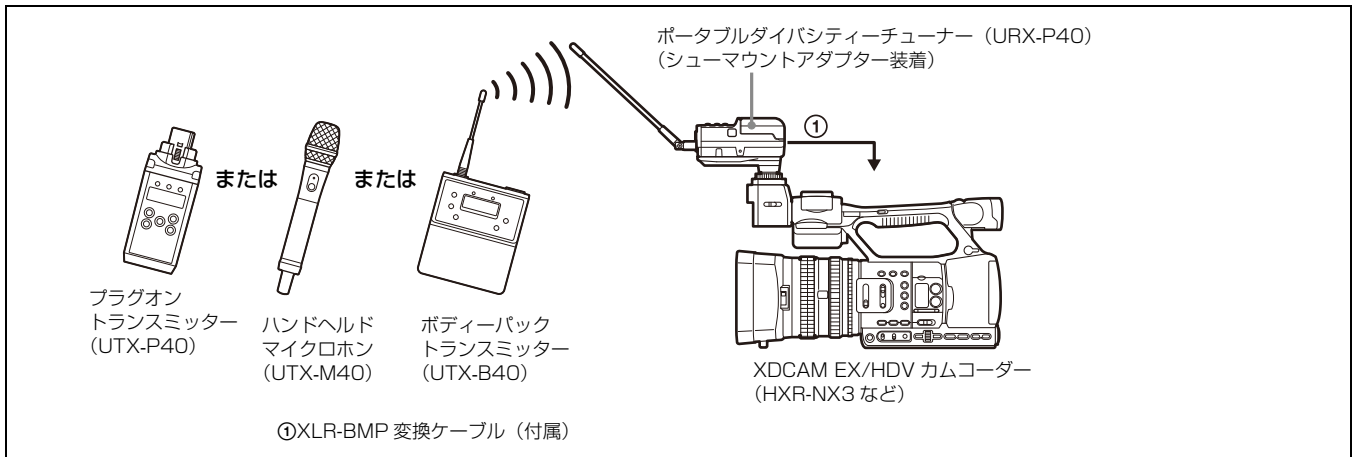
### ご注意

この機能は、拡張モード時のみ表示されます。

# システム構成例

以下のシステム構成は、UWP-D シリーズの使用例です。

ENG (Electronic News Gathering) または EFP (Electronic Field Production) での使用例 (カムコーダーとの組み合わせ)



# エラーメッセージ

ディスプレイ部には、通常表示の他に次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。

表示	意味	対応
EEP ERROR	バックアップメモリーデータにエラーが発生しました。	お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
PLL ERROR	PLL シンセサイザー回路に異常があります。	電源を入れ直してみてください。それでも直らないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
NO TONE	受信機で設定したコンパンダーモードとは異なるトーン信号の電波を受信したため、オーディオ信号出力がミュートされています。	使用する送信機に合わせて、コンパンダーモードを設定してください「コンパンダーモードを設定する (COMPANDER)」(23 ページ)。 UWP-D シリーズの送信機 (UTX-B40、UTX-M40 など) を使用する場合は、送信機と受信機のコンパンダーモードを同じ設定にしてください。

# 故障かなと思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の⊕と⊖が逆になっている。	正しい方向に入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい乾電池に交換してください。
	電池端子が汚れている。	⊕端子、⊖端子、バッテリーケースの端子 <sup>4)</sup> を綿棒でクリーニングしてください。
	POWER SOURCE が BATT ONLY に設定されているのに、電池が入っていない。 <sup>3)</sup>	電池を入れるか、POWER SOURCE の設定を変更してください。
電源が切れない。	POWER/MUTE ボタンがロックされている。 <sup>5)</sup>	POWER LOCK メニューでロック状態を解除してください。
	POWER/MUTE ボタンでは電源 ON/OFF ができない設定になっている。 <sup>6)</sup>	POWER/MUTE メニューを POWER/MUTE に設定するか、POWER ボタンで電源を切ってください。
電池がすぐになくなる。	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	マンガン乾電池を使用している。	マンガン乾電池の持続時間はアルカリ乾電池に比較して半分以下になりますので、アルカリ乾電池を使用してください。
	寒い環境で使用している。	低温時は、電池寿命が短くなります。
チャンネルの変更ができない。 <sup>1)</sup>	送信停止モードに入っていない。	いったん電源を OFF にして、SET ボタンを押しながら電源を ON にし、送信停止モードに変更してください。
音が出ない。	送信機と受信機のチャンネルが違っている。	送信機と受信機のチャンネルを合わせてください。
	送信機が電波を送信していないか、送信出力が小さい。	送信機の電源を確認してください。または、送信機と受信機の距離を近づけてください。
	送信機がライン入力に設定されている。 <sup>2)</sup>	マイク入力に設定してください。
	送信機と受信機のコンパンダーモードが違っている。	送信機と受信機のコンパンダーモードを合わせてください。
	送信機がミュート状態になっている。 <sup>1)</sup>	送信機の POWER/MUTE ボタンを押して、ミュート状態を解除してください。 MUTE SETTING メニュー (UTX-M40 では POWER/MUTE メニュー) が PTT HOLD に設定されています。設定を変更してください。
音が小さい。	送信機のアッテネーターの設定値が大きい。	入力レベルが小さくなっています。送信機のアッテネーターを適正量に設定してください。
	アンプ、ミキサーのボリュームが下がっている。	ボリュームを上げて適正音量にしてください。
	送信機がライン入力に設定されている。 <sup>2)</sup>	マイク入力に設定してください。
	送信機と受信機のコンパンダーモードが違っている。	送信機と受信機のコンパンダーモードを合わせてください。
音が歪む。	送信機のアッテネーターの設定値が小さい。または 0 である。	音量が過大入力です。音が歪まないように送信機のアッテネーターを設定してください。
	送信機の GAIN MODE メニューが 15dB BOOST に設定されている。	音量が過大入力です。音が歪まないように GAIN MODE の設定を変更してください。
	送信機と受信機のチャンネルが違っている。	送信機と受信機のチャンネルを合わせてください。
	モノラルミニジャックのヘッドホンを使用している。 <sup>3)</sup>	ステレオミニジャックのヘッドホンを使用してください。
アッテネーターの設定ができない。	GAIN MODE メニューが AUTO GAIN に設定されている。または、INPUT LEVEL メニューが LINE に設定されている。	GAIN MODE メニューおよび INPUT LEVEL メニューの設定を変更してください。



症状	原因	対策
音切れ、ノイズが発生する。	送信機と受信機のチャンネルが違っている。	送信機と受信機のチャンネルを合わせてください。
	2本以上の送信機が同じチャンネルになっている。	同一チャンネルで2本以上の送信機は使用できません。付属のCD-ROMに収録されている周波数リストに従って各送信機のチャンネルを設定し直してください。
	チャンネルが同一グループ内の設定になっていない。	本機のチャンネルプランは、2本以上の送信機を使用する場合、それぞれの送信機が混信しないように設定してあります。使用する送信機を同一グループ内のチャンネルに設定し直してください。
	近接チャンネルで運用している。	2チャンネル（250 kHz）以上離れたチャンネルを使用してください。
送信機の電源を切っても、受信機のRFインジケータが点灯している。	妨害電波が出ている。	受信機のチャンネルをRFインジケータが点灯していないチャンネルに設定するか、クリアチャンネルスキャン機能を使って妨害のないチャンネルに変更してください。次に、送信機を受信機と同じチャンネルに設定してください。2本以上の送信機を使用している場合は、妨害電波のない他のグループに変更してください。
赤外線送信で、送信機のチャンネルが設定できない。 <sup>1)</sup>	送信機の赤外線受光部と、受信機の赤外線送信ポートが離れている。	送信機の赤外線受光部と受信機の赤外線送信ポートを約20 cm以内に近づけてください。
	他の機器で赤外線通信を行ったり、直射日光により妨害を受けている。	強い陽射しなどで妨害を受けると、通信距離が短くなる場合があります。送信機と受信機をできるだけ近づけてください。
NFC通信で、送受信機のチャンネルが設定できない。	Nマーク同士が向かい合っていないか、距離が離れている。またはNマーク同士の間に金属などが挟まっている。	Nマーク同士を5 mm程度を目安に近づけてください。その際、金属などの異物を挟まないようにしてください。
	グリップが開いている。 <sup>6)</sup>	

1) ボディーパケットランスミッター（UTX-B40）／ハンドヘルドマイクロホン（UTX-M40）／プラグオントランスミッター（UTX-P40）のみ

2) ボディーパケットランスミッター（UTX-B40）／プラグオントランスミッター（UTX-P40）のみ

3) ポータブルダイバーシティーチューナー（URX-P40）のみ

4) ボディーパケットランスミッター（UTX-B40）／ポータブルダイバーシティーチューナー（URX-P40）のみ

5) ボディーパケットランスミッター（UTX-B40）／プラグオントランスミッター（UTX-P40）／ポータブルダイバーシティーチューナー（URX-P40）のみ

6) ハンドヘルドマイクロホン（UTX-M40）のみ

# 使用上のご注意

本機は日本国内専用です。海外ではご使用いただけません。

本機の NFC 通信は、送受信機間の通信専用です。そのほかの機器とは通信できません。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

## 結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

## 有機 EL パネルについて

一般に、有機 EL パネルは、その特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

## 有寿命部品について

電解コンデンサの寿命は約 5 年です。  
(常温で 1 日に 8 時間、1 カ月で 25 日間、通常で使用すると想定した場合)  
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

## 使用・保管場所

- UWP-D シリーズの機器を電力機器（回転機、変圧機、調光器など）に近接して使用すると、磁気誘導を受けることがありますので、できるだけ離して使用してください。
- 電飾などの照明器具により、かなり広範囲の周波数帯域にわたり電波が発生し、妨害を受けることがあります。この場合、受信機のアンテナの位置や送信機の使用位置により妨害が増減しますので、なるべく妨害を受けない位置で使用してください。
- UWP-D シリーズの機器を騒音の多い場所で使用すると、振動が直接本体に伝わり、雑音発生（マイクロホニック）の原因となり、規定の S/N を満足しない場合があります。

す。影響を受けると考えられるものには次のようなものがありますので、十分に注意してください。

- 回転機、変圧器などの付近
  - 空調機器より発生する騒音、または風を直接受ける場合
  - PA（Public Address）システムのスピーカー付近
  - スタジオなどに設置していて、スタジオの機器をおつけたり、たたいたり、物を落としたりした場合
- 対策として、影響を受ける条件からできるだけ離す、緩衝材を敷くなどしてください。

## お手入れ

表面や端子部の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品類は、表面の仕上げを傷めますので使用しないでください。

### 電波干渉を防ぐために

使用時に外来雑音や妨害電波などの影響で雑音が発生し、使用できないチャンネルが生じることがあります。このような場合は、電波干渉を防ぐために電波の発射を停止する（電源を切る）か、あるいは周波数の変更（チャンネルの切り換え）を行ってください。

### 携帯通信機器による電磁波障害を防止するために

携帯電話などの通信機器を本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、音声に影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯通信機器の電源はできるだけ切ってください。

# 主な仕様

N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますがご了承ください。

## 送信機 (UTX-B40/M40/P40)

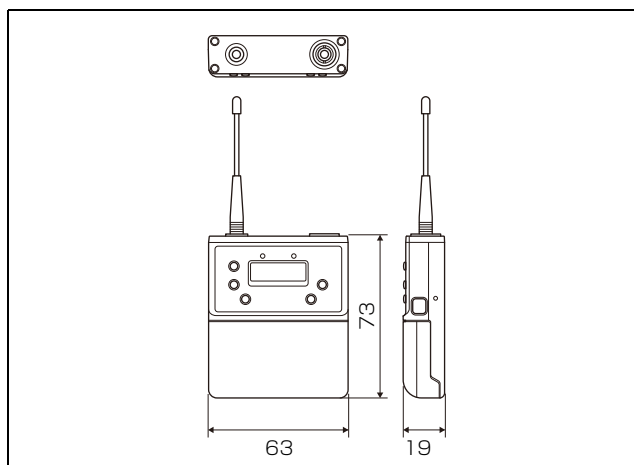
### 送信機共通

発振方式	水晶制御 PLL シンセサイザー
搬送波周波数	806.125 MHz ~ 809.750 MHz
RF 出力レベル	10 mW/2 mW (選択可)
プリアンプ	50 $\mu$ s
基準周波数偏移	$\pm 5$ kHz (-60 dBV, 1 kHz 入力時)
ひずみ率	0.9% 未満 (-60 dBV, 1 kHz 入力時)
S/N 比	60 dB (-60 dBV, 1 kHz 入力時)
	102 dB (GAIN MODE を AUTO GAIN に設定時、最大)
	96 dB (GAIN MODE を NORMAL に設定時、最大)
音声遅延	約 0.35 ミリ秒
トーン信号周波数	コンパンダーモードを UWP-D に設定時 : 32.382 kHz コンパンダーモードを UWP に設定時 : 32 kHz コンパンダーモードを WL800 に設定時 : 32.768 kHz
電源電圧	DC 3.0 V (単 3 形アルカリ乾電池 2 本) DC 5.0 V (USB 端子より供給)
NFC 機能	あり
IR SYNC 機能	あり
USB ポート	Type-C
許容動作温度	0 $^{\circ}$ C ~ 50 $^{\circ}$ C
許容保存温度	-20 $^{\circ}$ C ~ +55 $^{\circ}$ C

## ボディパックトランスミッター (UTX-B40)

アンテナ	波長 1/4 $\lambda$ ワイヤアンテナ
音声入力端子	$\phi$ 3.5 mm ロック式 3 極ミニジャック
基準音声入力レベル	-60 dBV (MIC 入力、GAIN MODE を NORMAL に設定時、アッテネーター 0 dB) +4 dBu (LINE 入力)
周波数特性	40 Hz ~ 15 kHz (Typical)
アッテネーター	0 dB ~ 27 dB (3 dB ステップ)
インジケータ	POWER、AUDIO/MUTE
電池持続時間	約 10 時間 (ソニーアルカリ乾電池 単 3 形 (LR6) 2 本使用、10 mW 出力、25 $^{\circ}$ C、DISPLAY MODE を AUTO OFF に設定時)

外形図



寸法	63×73×19 mm (幅/高さ/奥行き) (アンテナ含まず)
質量	約 83 g (乾電池含まず)

### ラベリアマイクロホン (ECM-V1BMP)

型式	エレクトレットコンデンサー型
周波数特性	40 Hz ~ 20,000 Hz
指向特性	無指向性
正面感度	-43.0 dB $\pm$ 3 dB (0 dB = 1 V/Pa, at 1 kHz)
許容動作温度	0 $^{\circ}$ C ~ 50 $^{\circ}$ C
許容保存温度	-20 $^{\circ}$ C ~ +55 $^{\circ}$ C
ケーブル長	外径 2.3 mm、2 芯シールドケーブル 1.2 m
外形寸法	$\phi$ 6.8×19.5 mm (ケーブルおよびコネクタを除く)
質量	約 16.2 g

## ハンドヘルドマイクロホン (UTX-M40)

マイクロホンユニット

ダイナミック

指向特性 単一指向

アンテナ 波長  $1/4\lambda$  ワイヤアンテナ

基準音声入力レベル

- 55 dBV

(GAIN MODE を NORMAL に設定時、アッテネーター 0 dB)

最大音声入力レベル

151 dB SPL (アッテネーター 21 dB、  
付属マイクロホンユニット使用時)

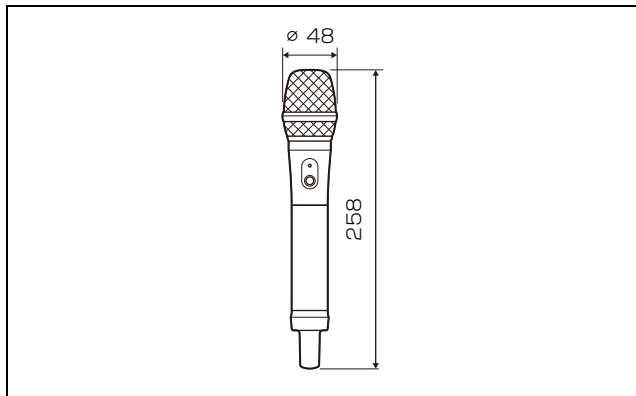
周波数特性 70 Hz ~ 15 kHz (Typical)

アッテネーター 0 dB ~ 21 dB (3 dB ステップ)

インジケータ POWER/MUTE

電池持続時間 約 10 時間 (ソニールカリ乾電池  
単 3 形 (LR6) 2 本使用、10 mW 出力、25 °C、DISPLAY MODE を  
AUTO OFF に設定時)

外形図



寸法  $\phi 48 \times 258$  mm (直径/長さ)

質量 約 255 g (乾電池含まず)

## プラグオントランスミッター (UTX-P40)

基準音声入力レベル

- 60 dBV (MIC 入力、GAIN MODE を  
NORMAL に設定時、アッテネーター  
0 dB)

周波数特性 50 Hz ~ 15 kHz (Typical)

アッテネーター 0 dB ~ 48 dB (3 dB ステップ)

音声入力端子 XLR-3-11C タイプ (凹)

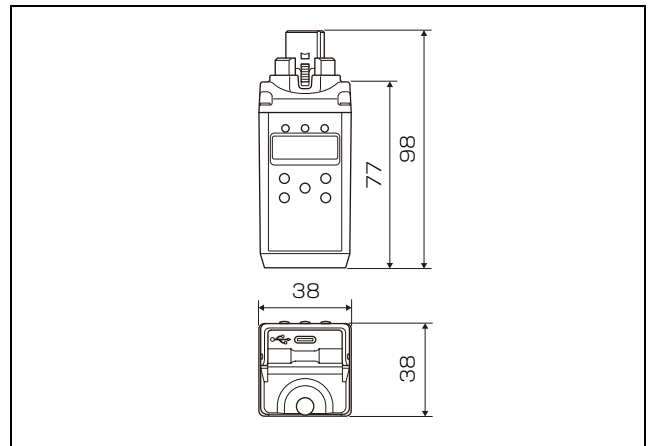
インジケータ POWER、AUDIO/MUTE、+48V

電池持続時間 (ソニールカリ乾電池 単 3 形 (LR6) 2 本  
使用、10 mW 出力、25 °C、  
DISPLAY MODE を AUTO OFF に設  
定時)

+48V OFF 時: 約 10 時間

+48V ON、ECM-673 接続時: 約 7 時間

外形図



寸法  $38 \times 98 \times 38$  mm (幅/高さ/奥行き)  
(音声入力端子含む)

質量 約 139 g (乾電池含まず)

## 受信機

### ポータブルダイバーシティーチューナー (URX-P40)

アンテナ 波長  $1/4\lambda$  ワイヤアンテナ (角度調節  
可)

音声出力レベル - 60 dBV ( $\phi 3.5$  mm ロック式 3 極ミニ  
ジャック、アナログ出力、オーディオ  
出力レベル 0 dB)  
- 20 dBFS (外部接続端子、デジタル出  
力、オーディオ出力レベル 0 dB)  
- 50 dBV (外部接続端子、アナログ出  
力、オーディオ出力レベル 0 dB)

オーディオ出力レベル可変範囲

- 12 dB ~ + 12 dB (3 dB ステップ)

音声出力端子  $\phi 3.5$  mm ロック式 3 極ミニジャック、  
外部接続用端子

ヘッドホン出力レベル

最大 10 mW (16-ohm)

ヘッドホン出力端子

$\phi 3.5$  mm ミニジャック

受信方式 トゥルーダイバーシティー方式

局部発振 水晶制御 PLL シンセサイザー

受信周波数 806.125 MHz ~ 809.750 MHz

S/N 比 60 dB (1 kHz Sin 波、5 kHz 変調)

音声遅延 約 0.35 ミリ秒 (アナログ出力)

約 0.24 ミリ秒 (デジタル出力)

ディエンファシス

50  $\mu$ s

基準周波数偏移  $\pm 5$  kHz

周波数特性 40 Hz ~ 15 kHz (Typical)

ひずみ率 0.9% 未満 (1 kHz Sin 波、5 kHz 変調)

トーン信号周波数

コンパンダーモードを UWP-D に設定時：

32.382 kHz

コンパンダーモードを UWP に設定時：

32 kHz

コンパンダーモードを WL800 に設定時：

32.768 kHz

インジケータ POWER、RF

許容動作温度 0℃～50℃

許容保存温度 -20℃～+55℃

NFC 機能 あり

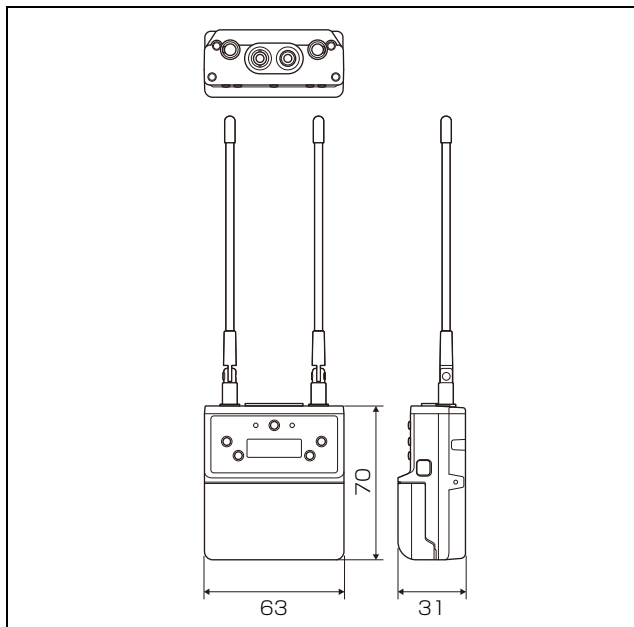
USB ポート Type-C

電源電圧 DC 3.0 V (単 3 形アルカリ乾電池 2 本)

DC 5.0 V (USB 端子より供給)

電池持続時間 約 6 時間 (ソニーアルカリ乾電池  
単 3 形 (LR6)、25℃、DISPLAY  
MODE を AUTO OFF に設定時)

外形図



寸法 63×70×31 mm (幅／高さ／奥行き)  
(アンテナ含まず)

質量 約 131 g (乾電池含まず)

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1